

2014年度（平成26年度）事業報告

社会福祉法人 愛隣園

会議等開催状況

| 月 日 | 事業名 | 内 容 | 参加人数 | 備 考 |
|-------|-------------|--|--|----------------|
| 4月1日 | 理事会 | 2014年度第1回理事会開催 1. 代表理事の選任について 2. 職務代理順位について 3. 平成26年度理事長報酬について 4. 評議員の選任に関する件 5. 愛隣保育園移築用土地の購入の件 6. その他事項 | 理事7名 (欠席0名) 監事1名 (欠席1名) | 東京第一 ホテル松山 |
| 4月12日 | 理事会 | 2014年度第2回理事会開催 1. サービス付き高齢者住宅等三津（仮称）の建築について 2. 設計監理業者の決定について 3. 平成26年度サービス付き高齢者向け住宅整備事業応募・ 交付申請について 4. 関連機関との事前協議について 5. その他事項 | 理事7名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名) | ガリラヤ荘 |
| 5月19日 | 監事監査 | 法人及び施設会計の決算監査 | 監事2名 | 愛隣保育園 ガリラヤ荘 |
| 5月24日 | 理事会 評議員会 | 2014年度第3回理事会及び第1回評議員会開催 1. 2013年度（平成25年度）事業報告について 2. 2013年度（平成25年度）決算報告について 3. 2014年度（平成26年度）第一次補正予算（案） 4. その他事項 | 理事7名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名) 評議員13名 (欠席2名) | 愛隣保育園 |
| 7月6日 | 理事会 | 2014年度第4回理事会開催 1. 三津サービス高齢者住宅等の建設について 2. 愛隣保育園移築予定地土地購入に関する件について 3. 愛隣保育園新築工事の設計監理業者の選任について 4. 新たな保育所設置・運営業者の募集等について 5. その他事項 | 理事6名 (欠席1名) 監事1名 (欠席1名) | 日記館 |

| | | | | |
|-------|-------------|---|--|----------------|
| 8月9日 | 理事会 評議員会 | 2014年度第5回理事会及び第2回評議員会開催 1. 愛隣保育園の公募について 2. 新設保育園の公募について 3. 2014年(平成26年度)補正予算(案)について 4. 給与規程の変更(案)について 5. その他事項 | 理事6名 (欠席1名) 監事2名 (欠席0名) 評議員10名 (欠席5名) | ガリラヤ荘 |
| 9月13日 | 理事会 評議員会 | 2014年度第6回理事会及び第3回評議員会開催 1. 愛隣保育園新築移転工事の設計監理業者の選定について 2. 新規事業(ガリラヤ荘:訪問介護事業)の開設について 3. 第2号議案に伴う定款変更について 4. 第2号議案に伴う予算について 5. 諸規程改正について 6. その他事項 | 理事7名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名) 評議員10名 (欠席5名) | ガリラヤ荘 |
| 1月15日 | 監事監査 | 法人及び施設期中監査 | 監事2名 | 愛隣保育園 ガリラヤ荘 |
| 1月17日 | 理事会 評議員会 | 2014年度第7回理事会及び第4回評議員会開催 1. 平成26年度補正予算(案)について 2. 諸規程の改定等について 3. その他事項 | 理事5名 (欠席2名) 監事2名 (欠席0名) 評議員12名 (欠席3名) | ガリラヤ荘 |
| 3月14日 | 理事会 評議員会 | 2014年度第8回理事会及び第5回評議員会開催 1. 平成26年度補正予算(案)について 2. 平成27年度愛隣保育園移転新築整備事業について 3. 障害福祉サービス事業(ホームヘルプ)の開始について 4. 定款変更について 5. 平成27年度理事長報酬について 6. 平成27年度事業計画(案)について 7. 平成27年度当初予算(案)について 8. 諸規程の変更について 9. その他事項 | 理事6名 (欠席1名) 監事2名 (欠席0名) 評議員13名 (欠席2名) | 東京第一 ホテル松山 |

研修参加状況

| 月 日 | | 時間 | | 参加者名 | 役職名 | 研 修 名 |
|-----|----|-------|-------|--------|-----------------|---|
| | | から | まで | | | |
| 4 | 11 | 11:00 | 15:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 日本キリスト教保育所同盟四国地区理事長・園長会 |
| 9 | 6 | 13:00 | 18:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 第10回全国高齢者ケア研究会・第3回全国地域包括ケア研究会 |
| 9 | 7 | 10:00 | 17:00 | | | |
| 9 | 13 | 13:00 | 16:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 法人理事長研修会 |
| 12 | 13 | 10:00 | 21:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 四国老人福祉学会第34回大会 |
| 1 | 17 | 15:40 | 16:40 | 法人役員 | 理事 監事 評議員 | 役員研修 参加数：理事5名 監事2名 評議員13名 講演：全国高齢者ケア研究会研究委員長 泉田照雄氏 演題：これからの社会福祉法人に求められるもの |
| 1 | 19 | 14:00 | 16:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 第2回デイサービスセンター職員研修会 |
| 1 | 23 | 14:00 | 16:30 | 佐々木 信也 | 理事長 | 平成27年度介護保険制度改正対策セミナー |
| 3 | 10 | 16:30 | 18:30 | 佐々木 信也 | 理事長 | 2015年地域包括ケア経営者研究会 |
| 3 | 29 | 13:30 | 15:00 | 佐々木 信也 | 理事長 | 平成27年度介護報酬改定セミナー人理事長研修会 『顧客満足に向けた取り組み』 |

2014年度(平成26年度)保育事業(活動)報告

愛隣保育園

1. 保育の目的

キリスト教主義に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法によって保育を行った。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準

第5章第32条より第36条を遵守した。

- (1) 保護者との関係をより親密に保つことを保育の一環とし、見学时より、丁寧に関わりをもった。
各々の家庭状況に合わせた関係づくりを意識し、保護者と思いを共有しながら保育を行った。
- (2) 保育活動の中で近隣地域との交流をできる限り多く行ったり、未就園児の家庭への働きかけを積極的に行った。(敬老の日、運動会、クリスマス会、遊戯会、保育所体験特別事業等)
- (3) 保育の質(職員人数・保育室の面積等)を十分に確保する中、待機児童の受け入れを積極的に行った。
- (4) 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、情報を収集し準備を行った。

2. 保育理念に基づき次の保育目標をもつ

- (1) あるがままの生活をしよう。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけよう。
- (3) 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
- (4) 自分を豊かに表現する子どもになろう。

3. 児 童 数 (別表 1-1)

定 員 60名 現 数 75名

(0歳児 8名、1～2歳児 26名、3歳児 14名、4歳以上児 27名)

4. 職 員 数 (別表 1-2)

園長 1名、保育士 13名(内1名事務兼務)、調理員 3名、事務 1名

5. 保 育 活 動 (別表 2)

6. 特別事業の実施状況

- ① 保育所体験特別事業 (別表 3-1)
- ② 延長保育事業 (別表 3-2)
- ③ 障害児保育事業

7. 園で取り組んだこと

- ① 地域との交流
- ② 食育活動
- ③ 地域子育て支援の推進

3. 児童数

別表(1-1)

入所児童状況

平成27年3月31日現在

| 月 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | 備 考 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------|
| 4月 | 2 | 10 | 15 | 16 | 17 | 10 | 70 | |
| 5月 | 3 | 11 | 15 | 16 | 17 | 10 | 72 | 0歳児1名、1歳児1名入園 |
| 6月 | 4 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 72 | 0歳児1名 入園 ・ 3歳児1名退園 |
| 7月 | 4 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 72 | |
| 8月 | 4 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 72 | |
| 9月 | 5 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 73 | 0歳児1名 入園 |
| 10月 | 5 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 73 | |
| 11月 | 6 | 11 | 15 | 15 | 17 | 10 | 74 | 0歳児1名 入園 |
| 12月 | 7 | 11 | 15 | 14 | 17 | 10 | 74 | 0歳児1名 入園 ・ 3歳児1名退園 |
| 1月 | 8 | 11 | 15 | 14 | 17 | 10 | 75 | 0歳児1名 入園 |
| 2月 | 8 | 11 | 15 | 14 | 17 | 10 | 75 | |
| 3月 | 8 | 11 | 15 | 14 | 17 | 10 | 75 | |
| 計 | 64 | 131 | 180 | 178 | 204 | 120 | 877 | |

4. 職員数

(別表1-2)

職員状況

| 月 | 園長 | 保育士 | | | 調理員 | | | 事務員他 | 合計 | | | 備 考 |
|----------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|-----|-------------------|
| | 正規 | 正規 | 非常勤 | パート | 正規 | 非常勤 | パート | 正規 | 正規 | 非常勤 | パート | |
| 4月 | 1 | 12 | | | 3 | | | 1 | 17 | | | 4月10日 保育士(正規)1名退職 |
| | | 7 | 4 | 1 | 2 | 1 | 0 | | 11 | 5 | 1 | |
| 5月 5 12月 | 1 | 12 | | | 3 | | | 1 | 17 | | | 5月1日 保育士(パート)1名採用 |
| | | 6 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | | 10 | 5 | 2 | |
| 1月 5 3月 | 1 | 13 | | | 3 | | | 1 | 18 | | | 1月1日 事務員(正規)1名採用 |
| | | 7 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | | 11 | 5 | 2 | |

事務職員…保育兼務(資格有り) 4月~12月

5. 保育活動

(別表2) 行事的保育活動

| 月日 | 曜日 | 行事的保育活動 | 他 |
|-----------------|--------|-------------------------------|--|
| 4月5日 | 土 | 入園式 | 保護者同伴。式は理事長・園長のあいさつ、各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員の人形劇で終え、各組でおやつを食して11:30降園する。 保護者会(役員選出・年間行事計画) |
| 4月24日 | 木 | 内科検診 | 医師 井上 哲志氏 15:00~16:30 |
| 4月26日 | 土 | 歓迎遠足 | 伊予市しおさい公園 9:30~13:30 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ保育園児との交流を持つ。 |
| 5月13日 | 火 | 歯科検診 | 医師 道田 満代氏 10:00~12:00 |
| 5月17日 | 土 | 保育参観日 | くま組(5歳児)、きりん組(4歳児)、ひよこ組(0・1歳児) 9:30~12:00 |
| 5月31日 | 土 | 保育参観日 | うさぎ組(3歳児)、ひよこ組(0・1歳児) 9:30~12:00 |
| 6月2日 ~6月20日 | 月 金 | 愛媛調理製菓専門学校2年生 実習 | |
| 6月3日 | 火 | きりん・くま組(4. 5歳児)ガリラヤ荘遠足(芋の苗つけ) | |
| 6月9日 ~6月20日 | 月 金 | 松山東雲大学2年生 実習 | |
| 6月19日 | 木 | 花の日 | 礼拝を三津教会で行い、子どもたちが日頃お世話になっている公共施設やご近所に感謝の気持ちとともに花を届ける。 |
| 7月2日 | 水 | 愛隣友の会 グランドピアノ 贈呈式 | |
| 7月14日 ~7月26日 | 月 土 | 聖カタリナ短期大学2年生 実習 | |
| 7月15日 | 火 | 松山市による指導監査 | 9:30~13:00 (7名) |
| 7月26日 | 土 | 興居島海水浴 | くま組(5歳児10名)、引率者(職員9名、役員・保護者3名) |
| 8月1日 | 金 | 愛媛県立松山西中等教育学校 4年、5年生 8名来園 | |
| 9月13日 | 土 | 敬老参観日 | <プログラム> 1. 子どもたちのハンドベル奏・うた。 2. 保育士の劇、フラメンコ・ギター演奏。 3. 茶話会。 |

| 月 日 | 曜日 | 行 事 的 保 育 活 動 他 |
|--------|----|---|
| 10月1日 | 水 | 三津浜中学校2年生職場体験 2名来園 |
| 10月18日 | 土 | 運 動 会 大可賀公園で保護者、祖父母、地域の方、 小学生、未就園児 約300名参加 9:00～12:30 |
| 10月26日 | 日 | 地域わくわく交流会参加 (4.5歳児) |
| 10月28日 | 火 | 秋の遠足 4・5歳児はガリラヤ荘遠足で、デイサービスの利用者さんと交流し、 芋ほりを楽しむ。 0・1・2・3歳児は祓川公園へ、遠足。 |
| 11月13日 | 木 | 感 謝 祭 礼拝を三津教会で行い、子どもたちが日頃お世話になっている公共施設や ご近所に感謝の気持ちとともに、家から持ち寄った果物や野菜を届ける。 |
| 11月13日 | 木 | 内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30 |
| 11月18日 | 火 | 歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00～12:00 |
| 11月26日 | 水 | 幼・保・小交流活動 三津浜小学校訪問 くま組(5歳児) 10:15～11:20 |
| 12月20日 | 土 | クリスマス祝会 クリスマス礼拝と祝会を保護者やその家族とともに行う。 10:00～11:30 |
| 12月26日 | 金 | 大道芸人`栗煮空`さん公演 …保育所体験特別事業として行い、園児も参加する。 |
| 1月17日 | 土 | もちつき 新型インフルエンザ、ノロウィルス等感染症に配慮してもちつき機を使って 行う。また、臼・杵を使ってのもちつきも体験する。近隣の家庭に配る。 |
| 2月28日 | 土 | お別れ遠足 東温市総合公園 ハロウインの森 9:30～13:30 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ保育園児との交流を持つ。 |
| 3月28日 | 土 | 遊戯会、卒園式を合わせて行う 9:15～12:45 |
| | | 新入園児の面接 15:00～16:30 |

※ 誕生会… 毎月1回

※ 避難訓練…毎月1回(総合訓練年2回)

6. 特別事業の実施状況

①保育所体験特別事業 … 生後6ヶ月から就学前の未就園児と保護者を対象とし、定期的な保育所体験を実施するとともに、入所児童との交流や、育児に関する相談を受ける。

(別表3-1) 保育所体験特別事業の利用者数

| 回 | 実施日 | 内容 | 参加者 |
|----|--------|-------------------------------|---------------|
| 1 | 4月26日 | 歓迎遠足に参加する。(伊予市しおさい公園) | 子: 3人 親: 3人 |
| 2 | 4月28日 | 室内の遊具・玩具で遊んだり、広場で遊んだりする。 | 子: 6人 親: 5人 |
| 3 | 5月21日 | 戸外でミニカーや三輪車に乗ったり、砂あそびなど広場で遊ぶ。 | 子: 7人 親: 6人 |
| 4 | 6月24日 | 一緒に歌を歌ったり、おもちゃ作りを楽しむ。 | 子: 12人 親: 10人 |
| 5 | 7月29日 | ダンス・体操を在園児とした後、水遊びを楽しむ。 | 子: 14人 親: 12人 |
| 6 | 8月12日 | ダンス・体操を在園児とした後、水遊びを楽しむ。 | 子: 6人 親: 5人 |
| 7 | 9月17日 | 在園児と一緒に三津公園に行き、運動会ごっこを楽しむ。 | 子: 12人 親: 10人 |
| 8 | 10月18日 | 運動会を楽しむ。 | 親子約25組 |
| 9 | 11月14日 | リズムあそびをしたり、広場に出て戸外あそびを楽しむ。 | 子: 12人 親: 9人 |
| 10 | 12月26日 | 大道芸人"栗煮空"さんの演芸を楽しむ。 | 子: 10人 親: 7人 |
| 11 | 1月22日 | 歌を歌ったり、鬼のお面を作ったりする。 | 子: 14人 親: 11人 |
| 12 | 2月10日 | 粘土あそび、ままごとあそび、ボールあそびを楽しむ。 | 子: 12人 親: 9人 |
| 13 | 2月28日 | お別れ遠足に参加する。(東温市総合公園"ハロウインの森") | 子: 3人 親: 3人 |
| 14 | 3月28日 | 遊戯会を見て楽しむ。 | 子: 2人 親: 2人 |

② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

(別表3-2) 延長保育事業延人数 (月～金曜日 18:00～19:00 の利用者)

| 月 | 未満児 | 3歳児 | 4歳以上児 | 合計 |
|----|-----|-----|-------|-------|
| 4 | 33 | 18 | 73 | 124 |
| 5 | 43 | 26 | 80 | 149 |
| 6 | 54 | 19 | 82 | 155 |
| 7 | 50 | 27 | 78 | 155 |
| 8 | 49 | 32 | 70 | 151 |
| 9 | 44 | 26 | 77 | 147 |
| 10 | 56 | 24 | 72 | 152 |
| 11 | 46 | 24 | 69 | 139 |
| 12 | 49 | 30 | 77 | 156 |
| 1 | 46 | 17 | 82 | 145 |
| 2 | 48 | 28 | 93 | 169 |
| 3 | 60 | 27 | 88 | 175 |
| 計 | 578 | 298 | 941 | 1,817 |

③ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児：5歳児 2名 4歳児 1名 3歳児 2名 0歳児 1名 計6名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

- 1 実施した支援等の内容
施設支援一般指導事業
・成長や発達がゆるやかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
・聴覚障害児地域支援サービス(訪問支援)
- 2 利用施設
・社会福祉法人 福角会 くるみ園
・愛媛県視聴覚福祉センター
・親子通園 くれよん
- 3 実施内容

| 月日 | 実施内容 | 利用施設 |
|--------|---|--------------|
| 5月14日 | 各クラスの子どもたちの様子を見る。5歳児1名 発達検査。 | くるみ園 |
| 6月17日 | 午前中、各クラスを参観し、午後、個別のケースについてアドバイスを受ける。 | くるみ園 |
| 7月16日 | 3歳児1名 発達検査。 | くるみ園 |
| 8月11日 | 5歳児1名 発達検査。 | くるみ園 |
| 9月2日 | 午前中、主に4・5歳児を参観。午後、話し合い。(クラス運営・個別の支援・配慮) | くるみ園 |
| 9月5日 | 聴覚障害児(0歳児)の訪問支援。園での様子を見てもらい、午後よりアドバイスを受ける。 | 愛媛県視聴覚福祉センター |
| 10月10日 | 全クラス、運動会の練習の様子を見る。(大可賀公園) 午後、個別ケース(主に3歳児1名)に対する支援・配慮についてアドバイスを受ける。 | くるみ園 |
| 11月19日 | 3歳児1名 発達検査。 | くるみ園 |
| 2月3日 | 各クラスの子どもたちの様子を見る。 午後、支援の必要な子についての関わり方、生活について話し合う。 | くるみ園 |
| 3月19日 | 3歳児1名 くれよんに発達の様子を見てもらい、今後の相談。(母・園長) | くれよん |

教育相談(松山市教育委員会)の利用について

年長児2名申請する。

- ・小学校への移行がスムーズにできるように、配慮が特に必要な2名について、保護者、園長、特別支援教育担当教職員と話し、発達検査等の実施する。
- ・入学を希望する小学校の担当職員と引き継ぎを丁寧に行う。

7. 園で取り組んだこと

① 地域との交流

- ・歓迎遠足、お別れ遠足に在園児の祖父母、小学生に参加してもらい交流を深めた。
- ・花の日、感謝祭に近隣の諸施設や近隣の方々に花や野菜・果物を届け、高齢者や施設の方々と交流した。

- ・小・中・高校生との交流を積極的に行った。(交流活動・職場体験・保育園訪問活動)
- ・各行事に、園児の祖父母、近隣の方々に案内をし、行事を一緒に楽しんだ。
また、運動会には、幅広く地域の方々に声をかけ、参加していただいた。
- ・職員の有志が三津公園の清掃に参加し、地域の方々と親睦を深めた。
- ・地域主催のわくわく交流会に参加する。
- ・三津教会主催のバザーに職員の有志も参加する。また、保護者や近隣の方々に案内する中、
たくさんの方々に参加していただいた。

③ 食育活動

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。
また、野菜の栽培、収穫、調理等を経験した。

| | |
|------|--|
| 4月 | いちごの収穫 |
| 5月 | 年長児が、野菜の苗を見に行き、購入。 (きゅうり、ミニトマト、メロン、なす、ピーマン、オクラ) 野菜の苗を植え、生育を見守る。 広場に畑を作り、芋の苗付けをする。 |
| 6月 | ガリラヤ荘で芋の苗付けをする。(年中・年長児) |
| 7・8月 | とうもろこし皮むき 野菜の収穫 かき氷大会 |
| 10月 | 広場の畑の芋ほり・ガリラヤ荘で芋ほりを体験する。 |
| 11月 | たこ焼き大会 |
| 12月 | クッキング…ピザ クリスマス立食パーティー(バイキング) |
| 1月 | もちつき大会 クッキング…カレー |
| 2月 | クッキング…恵方まき クッキング…お好み焼き |

※26年度 アレルギー児への対応

| | 年齢・性別 | アレルギー | 除去の状況 | 解除 |
|----|-------|---------------|-------------------------------------|--|
| 1 | 0歳男児 | 卵・乳 | 完全除去 | 9月…菓子類、パン類はOK |
| 2 | 0歳男児 | 卵・乳 小麦・その他 | 卵・乳・小麦…完全除去 ◇食器、調理器具類は本児専用の物を使用。 | 米・じゃが芋・かぼちゃ・キャベツ・人参 白菜・ブロッコリー・さつま芋・昆布 |
| 3 | 1歳女児 | 卵・乳 | 卵…完全除去 乳…菓子類、パン類はOK | 乳…6月解除 |
| 4 | 1歳男児 | 卵・乳・ごま | 完全除去 | |
| 5 | 2歳女児 | 卵 | 完全除去 | |
| 6 | 2歳女児 | 卵・乳 | 卵…完全除去 乳…菓子類、パン類はOK | 乳…4月解除 |
| 7 | 2歳男児 | 卵・乳 | 卵…つなぎOK 乳…菓子類、パン類はOK | |
| 8 | 3歳男児 | 卵・甲殻類 軟体類 | 完全除去 | |
| 9 | 4歳男児 | 果物類 | キウイ…完全除去 | |
| 10 | 4歳男児 | 卵 | つなぎOK | |
| 11 | 5歳女児 | 卵 | つなぎOK | 6月解除 |
| 12 | 5歳女児 | 軟体類 | いか | |

③ 地域子育て支援の推進

体験保育を利用している方々の子育てについての相談が主であった。
また、卒園児の保護者や見学に来られた方々より相談を受ける。

※ 苦情及び苦情解決の状況について

平成26年度苦情件数 … 1件

内容 … 以前の子ども同士のトラブルより、登園を嫌がっている。
トラブル時の対応が適切にできてなかったのではないか。

解決状況 … 以前のトラブル時の対応と現在の子ども同士の様子を担任と園長で説明をする。

※ 感染症について

- ・インフルエンザ A型…9名(12月・1月) B型…3名(4月)
- ・嘔吐下痢症 27名(8月、9、10月を除く月)
- ・水疱瘡 27名(9月・10月・11月)
- ・流行性耳下腺炎 2名(8・3月)
- ・プール熱 2名(6月)
- ・流行性角結膜炎 1名(12月)
- ・ヘルパンギーナ 3名(12月)
- ・溶連菌感染症 3名(7月・9月・3月)

※ 保育中のケガについて

保育園で手当てをし、保護者に報告したもの

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| すり傷等 | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | 4 |
| 打ち身等 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 5 | 2 | 1 | 24 |
| つめる | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 3 |
| 合計 | 1 | 6 | 2 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 | 2 | 5 | 4 | 1 | 31 |

病院を受診したもの

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 骨折 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| とげがささる | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 合計 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | 2 |

他の園児と関わりがあり保護者に報告したもの

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| かみつき | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | 6 |
| つねられる | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| ひっかき傷 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | 9 |
| 合計 | 2 | 4 | 2 | 2 | | 1 | 2 | 2 | | 1 | 1 | | 17 |

※ 研修参加状況について
平成26年度 施設外研修

| No. | 実施月 | 研修会名 | 参加職種 | 研修内容 | 場所 |
|-----|---------------------------|--------------------------------|--------------------|---|-----|
| 1 | H26.4.12 | 平成26年度松山市保育会総会 | 園長 保育士 | 総会・全体研修会 Ⅰ「あなたの脳は大丈夫？」—認知症にならないコツ、脳卒中で倒れないコツ— Ⅱ「子ども子育て新制度について」 | 松山市 |
| 2 | H26.4.11 | 2014年度四国地区理事長・園長会 | 園長 | 議案(1)2013年四国地区諸報告と決算報告承認の件 (2)2014年四国地区諸計画案と予算案承認 (3)2014年地区活動についての協議に関する件 | 松山市 |
| 3 | H26.5.24 | 松山市保育会相互研修 | 保育士 | 様々な材料を使った万華鏡の作り方 | 松山市 |
| 4 | H26.5.17 | 子ども子育て支援新制度シンポジウム | 園長 保育士 | 基調講演「子ども・子育て支援新制度について」 パネルディスカッション「子ども・子育て支援新制度の目的と内容、方向性について」 | 松山市 |
| 5 | H26.6.12 } H26.6.13 | 平成26年度愛媛県初級保育士研修会 | 保育士 | 講義Ⅰ「保育士としての喜びと責任」 実技「乳幼児の発達支援とミュージック・ケア」 講義Ⅱ「いのちを育む喜び」 講義Ⅲ「社会人としてのマナー」 | 松山市 |
| 6-1 | H26.6.12 | 平成26年度 体育実技研修会リーダー会 | 保育士 | 打ち合わせ | 松山市 |
| 6 | H26.6.28 | 平成26年度 体育実技研修会 | 保育士 | 体育実技 | 松山市 |
| 7 | H26.6.20 | 保育所給食・食育担当者研修会 | 調理員 | 講話「保育所給食における衛生管理について」 事例発表「保育園における給食・食育の取り組みについて」 意見交換・情報提供・事務連絡 | 松山市 |
| 8 | H26.6.11 | 保育新制度セミナー | 園長 | 子ども・子育て支援新制度について「第1部 各種基準、保育認定等」 「第2部 幼保連携型認定こども園保育要領 公定価格に関する検討の動向等」 「全保協の子ども・子育て支援新制度に向けた対応について」 | 大阪府 |
| 9 | H26.6.21 | 第26回四国小児アレルギー研究会 一般市民向け公開講座 | 保育士 調理員 | 1.小児気管支喘息 2.食物アレルギーとアトピー性皮膚炎 3.食物アレルギー連絡票 4.園学校内での事故(誘発症状)への対応 5.練習用エビペン自己注射器を用いた緊急時対応シミュレーション 6.総合討議 | 松山市 |
| 10 | H26.6.25 | 平成26年度 障がい児保育実践研修(第1回) | 保育士 | 療育機関との連携について | 松山市 |
| 11 | H26.7.7 } H26.7.8 | 平成26年度愛媛県子育て支援専門研修会 | 保育士 | 講義Ⅰ「子育ての悩み解決！」 パネル・グループ討議「保育者から保護者への相談支援の重要性」 講義Ⅱ「絵本の持つ力」 講義Ⅲ「学力・体力低下、心の問題に歯止めをかける、生活リズムづくり」 | 松山市 |
| 12 | H26.7.6 | 児童福祉施設におけるクッキング講座 | 園長 主任保育士 調理員 | ビデオ鑑賞 講義①防災対策 ②食物アレルギー児の個別対策 グループワークと報告 | 松山市 |
| 13 | H26.8.20 } H26.8.22 | 第56回 夏季保育大学 | 園長 保育士 | 講演、フィールドワーク他 | 東京都 |
| 14 | H26.6.18 | 子ども・子育て支援新制度説明会 | 園長 | 本格施行までの作業スケジュールについて、公定価格の仮単価 私立幼稚園の新制度への移行希望に関する意向調査について、政省令・告示等について | 松山市 |
| 15 | H26.7.5 | 松山市保育会相互研修 | 主任保育士 保育士 | 保育新制度により変わる、保育の内容等について | 松山市 |
| 16 | H26.6.24 | 社会福祉法人新会計基準対策セミナー | 事務員 | 移行直前年度の準備等 | 松山市 |
| 17 | H26.7.24 } H26.7.25 | 平成26年度愛媛県保育士研修会 | 保育士 | 実技「保育に活かせる楽しい運動遊び」 講義Ⅰ「子ども・子育て支援新制度について」 パネル討議「新たな時代の保育実技～すべての子どもに向けて今、大切な保育とは～」 講義Ⅱ「新たな時代の保育実践～すべての子どもに向けて～」 | 松山市 |
| 18 | H26.7.22 | 子ども・子育て支援新制度説明会 | 事務員 | 1 子ども・子育て支援新制度について 2 幼保連携型認定こども園及び地域型保育事業の認可基準について 3 認可等に係る今後のスケジュールについて 4 新制度への移行希望に関する調査について 5 質疑応答 | 松山市 |
| 19 | H26.8.25 | 平成26年度 聴覚障害児担任者研修会 | 保育士 | 聴能訓練の紹介、難聴疑似体験 講演会「聴覚障害児の理解と支援について」・ 質疑応答・まとめ | 松山市 |

| No. | 実施月 | 研修会名 | 参加職種 | 研修内容 | 場所 |
|-----|---------------------------|---------------------------------------|------------------------|--|-----|
| 20 | H26.8.24 | 第59回愛媛県保育事業研修大会 | 保育士 事務員 | (1)式典 (2)行政説明 (3)団体ダンス映像視聴 (4)講演「子ども・子育て新制度と今後の保育・保育所運営」 (5)講演「幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解と乳幼児期における教育」 | 松山市 |
| 21 | H26.9.29 | 中堅保育士研修会 | 保育士 | 講義内容「0, 1, 2歳の発達の魅力をとらえた子育て」 ～子どもたちの言葉にならない言葉を受け止める～ | 松山市 |
| 22 | H26.11.1 | オペレッタ研修会 | 主任保育士 保育士 | オペレッタを中心とした「発表会・手遊び・リズムあそび」 | 松山市 |
| 23 | H26.11.6 } H26.11.7 | 平成26年度愛媛県主任保育士研修会 | 主任保育士 | 講義Ⅰ「遊びを中心とした保育のあり方と保育者の専門性」 パネル・グループ討議「保育所の使命と地域社会での役割」 講義Ⅱ「保育における保護者への相談支援と他機関連携の重要性」 講義Ⅲ「子ども虐待対応における人材育成と課題」 | 松山市 |
| 24 | H26.11.1 | 第三者評価受審に向けて ～制度の概要と自己評価のすすめ～ | 園長 | 評価機関の視点から見た、保育園の共通課題とは 自己評価に取り組むうえでの留意点 愛媛県における第三者評価制度～項目解説と受審準備に向けたポイント | 松山市 |
| 25 | H26.11.15 | 保育研究所 新制度フォーラムⅢ | 園長 | 公定価格の概要と保育者の処遇改善を考える 新制度における保育と教育問題を考える | 岡山県 |
| 26 | H26.11.26 | 平成26年度 愛媛県保育所給食担当者研修会 | 調理員 | 講義Ⅰ「家庭と地域の連携による食育の推進」 パネル・グループ討議「家庭と地域の連携による食育の推進」 講義Ⅱ「一人ひとりの命を輝かせるために～食育で生きる力を育む～」 | 松山市 |
| 27 | H26.11.15 | 松山市保育会 全体研修会(実技) | 保育士 | 明日使える、即役に立つダンスお遊戯研修会 | 松山市 |
| 28 | H26.11.19 | 感染症予防対策研修会 | 調理員 | i)介護保険サービス事業所等における労働基準関係について ii)感染症の予防対策について iii)食中毒、レジオネラ菌の予防対策について iv)介護保険制度について(実施指導例から) v)事務連絡 | 松山市 |
| 29 | H26.11.28 | 平成26年度 松山市要保護児童対策関係機 関研修会 | 保育士 | 虐待と愛着関係 | 松山市 |
| 30 | H27.1.23 | 平成26年度 愛媛県保育所長研修会 | 園長 | 講義Ⅰ「新制度を前にした現在の保育の現状と課題」 講義Ⅱ「新制度に向けての保育課程を考える」 シンポジウム「これからの保育の方向性について」 | 松山市 |
| 31 | H27.1.16 | 社会福祉法人新会計移行前最後のセミナー | 事務員 | 移行前最後の新会計セミナー ～新会計移行直前の留意事項～ | 松山市 |
| 32 | H27.2.19 | 平成26年度 退職共済実務研修会 及び 福利厚生センター担当者研修会 | 事務員 | 愛媛県民間社会福祉事業従事者退職年金共済支援事業について ・事業の概要、事務処理の流れ ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)との相違点等 福利厚生センター事業について ・福利厚生センター概要、加入メリット、サービス内容 | 松山市 |
| 33 | H27.2.10 | 保育所給食・食育担当者研修会 | 調理員 | (1)事例発表「保育園における給食・食育の取り組みについて」 (2)講話「ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会報告等」 (3)意見交換・情報提供・事務連絡 | 松山市 |
| 34 | H27.2.25 } H27.2.26 | 2014年度 日本キリスト教保育所同盟 四国地区職員研修会 | 園長 保育士 保育士(事務兼務) | 講演:「人と人との交わりを深める」<対人支援の基本スキルを学ぶ> 演習、施設見学 他 | 香川県 |
| 35 | H27.2.28 | 松山市保育会主任保育士研修会 | 主任保育士 | 保護者・子どもへの望ましい対人援助について | 松山市 |
| 36 | H27.2.14 | 第10回 発達支援保育研修会 特別講演会 | 保育士 | 読み書き、運動が苦手な子どもへの支援～「見る力」の問題とトレーニングについて～ | 松山市 |
| 37 | H27.2.18 | 特異クレームへの対応セミナー | 園長 | 通常の対応では解決が難しいクレームとどのように向き合うか | 松山市 |
| 38 | H27.3.2 | 保育園 新基準会計研修会 | 事務員 | ・新会計基準の概要 ・新たに導入される会計処理の主な内容 ・新会計基準への移行作業について ・運営費弾力運用の実務 ・新会計基準 決算・財務諸表の内容について ・認定こども園化について | 松山市 |
| 39 | H27.3.24 | 松山市保育会代議員会の開催について | 主任保育士 | 1. 平成26年度事業報告(案)・平成26年度会計報告(案) 2. 平成27年度事業計画(案)・平成27年度会計予算(案) 3. その他 | 松山市 |

※子ども・子育て連絡協議会について

子ども達の未来を考え、より良い子育て環境の整備のための協議及び提案を行うことを目的とする。
会員は、私立保育園及び認定子ども園、地域保育所並びに子ども子育てに関係する諸団体とする。
目的を達成するために、次のことを行う。

- (1) 定期的な会員相互の情報共有のための会議。
- (2) 子ども子育てに関する行政及び諸団体との連絡と調整等。

| 開催日 | 参加者 |
|-----------------|--------|
| 第1回 平成26年 5月 1日 | 園長 |
| 第2回 平成26年 6月25日 | 園長 |
| 第3回 平成26年10月30日 | 園長 |
| 第4回 平成26年12月 5日 | 園長 |
| 第5回 平成27年 2月23日 | 園長・事務員 |
| 第6回 平成27年 3月 3日 | 園長 |
| 第7回 平成27年 3月19日 | 園長・事務員 |

2014 年度（平成 26 年度）

ガリラヤ荘 事業報告

《 事業の種類 》

- | | |
|--------------------------------|---------|
| I. 特別養護老人ホーム〈介護老人福祉施設〉 | 定員 80 名 |
| II. (介護予防) 短期入所生活介護事業〈ショートステイ〉 | 定員 20 名 |
| III. (介護予防) 通所介護事業〈デイサービス〉 | 定員 30 名 |
| IV. 居宅介護支援事業 | |
| V. 在宅介護支援センター | |
| VI. (介護予防) 訪問介護事業〈ホームヘルプサービス〉 | |

ガリラヤ荘（全体）

| 取組事項 | 実践内容 |
|-------------------------------|--|
| 命と尊厳を守り 安心して生活できる 施設づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が穏やかに笑顔のある暮らしを送るため、平穏ケア（トータルケア）の実践と、HOL（ハピネスオブライフ）の提供を継続 ・最期まで人として口から食べるため、食形態の見直しと口腔ケアの徹底 ・介護力を高めるため、ガリラヤ荘独自の「基礎介護テキスト」を作成、全職員に配布し職員研修に活用 ・感染症の集団発生及び身体拘束 0 件 ・家族との情報共有のため、家族会開催（2 日間・38 家族 51 名参加） |
| 在宅生活の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業所の開設（平成 26 年 11 月） ・在宅男性介護者の支援として「おとこ塾」の開催（年 3 回） ・口腔ケアの出前講座を地域サロンにて実施（8 か所） ・在宅利用者の健康管理のため、在宅版総合記録シートの導入 |
| 広報活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル（アクセス数・約 700 人/月）とブログ、ツイッター、フェイスブックの開始 ・ガリラヤ荘感謝祭 2014 の実施（11 月 2 日） ・地域住民（東温市南方東地区）による自主防災組織との連携（合同訓練・年 2 回） |
| やりがいを感じ 働きやすい職場 づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ休暇（連続 5 日）の実施 ・細やかな面談と人材育成による離職者数の減少 |
| 安定運営の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の運営会議にて、各部署の実績確認（特養のみ目標未達成） ・新会計基準への移行による、新経理規程の制定と会計システムの導入 |

I. 特別養護老人ホーム〈介護老人福祉施設〉

1. 入所者の状況（平成27年3月31日現在）

【出身地別入所・退所状況】

| 出身地 (保険者) | 保険者別入所者数 | | | 平成26年度中の移動状況 | | | | | |
|--------------|----------|----|----|--------------|----|----|-----|----|----|
| | | | | 入 所 | | | 退 所 | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 東温市 | 21 | 44 | 65 | 10 | 16 | 26 | 5 | 16 | 21 |
| 松山市 | 6 | 7 | 13 | 2 | 2 | 4 | 0 | 5 | 5 |
| 西条市 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 大洲市 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 伊予市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| 今治市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 合 計 | 27 | 53 | 80 | 12 | 19 | 31 | 5 | 25 | 30 |

待機者数（平成27年3月末現在 67名）

【年齢構成】

| 項 目 | 男 | 女 | 全体 |
|------|------|------|------|
| 入所者数 | 27 | 53 | 80 |
| 平均年齢 | 81.9 | 88.8 | 86.5 |
| 最高齢 | 98 | 99 | |
| 最年少 | 63 | 73 | |

【要介護度別人数】

| 要介護度別 | 男 | 女 | 計 |
|-------|------|-----|------|
| 1 | 0 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 1 | 3 |
| 3 | 4 | 9 | 13 |
| 4 | 6 | 18 | 24 |
| 5 | 15 | 24 | 39 |
| 平 均 | 4.23 | 4.2 | 4.21 |

2. 医療の状況

【入院状況】

| | 実人数 | 延べ日数 | 平均日数 |
|-----|------|-------|------|
| 4月 | 8 | 87 | 10.8 |
| 5月 | 13 | 172 | 13.2 |
| 6月 | 9 | 97 | 10.7 |
| 7月 | 6 | 54 | 9.0 |
| 8月 | 7 | 35 | 5.0 |
| 9月 | 10 | 111 | 11.1 |
| 10月 | 19 | 257 | 13.5 |
| 11月 | 12 | 131 | 10.9 |
| 12月 | 9 | 113 | 12.5 |
| 1月 | 9 | 120 | 13.3 |
| 2月 | 8 | 77 | 9.6 |
| 3月 | 9 | 107 | 11.8 |
| 合計 | 119 | 1,361 | |
| 月平均 | 9.91 | 113.4 | 11.4 |

*前年度実日数 99名
延べ日数 1,130日

【入院疾患別人数（延べ人数）】

| 疾患名 | 今年度 | 前年度 |
|----------|-----|-----|
| 肺炎 | 41 | 25 |
| 心疾患 | 5 | 9 |
| 脳梗塞 | 2 | 3 |
| 膀胱炎・腎盂腎炎 | 5 | 5 |
| 腸閉塞 | 2 | 2 |
| 骨折 | 2 | 4 |
| 胆石・胆のう炎 | 7 | — |
| その他 | 15 | 22 |
| 合計 | 79 | 70 |

※緊急搬送回数 3回（前年度 2回）

【医療管理状況】 平成27年3月31日現在

| 医療行為 | 今年度 | 前年度 |
|-----------|-----|------|
| 胃ろう | 4 | 9 |
| 腸ろう | 0 | 0 |
| 在宅酸素療法 | 3 | 3(2) |
| 人工肛門 | 2 | 1(1) |
| 尿道留置カテーテル | 1 | 2(2) |
| インシュリン注射 | 2 | 1 |
| 痰の吸引（常時） | 0 | 2 |

※（ ）はショートステイ利用者数を表示

【感染症報告】

〈インフルエンザ〉

年末に職員がA型に罹患（家族内感染）。また、ショート利用者が利用中に発症し、他利用者や職員に感染。しかし、隔離・受診・予防を徹底、感染を最小限にとどめ、他ユニットへの感染拡大を防止。

〈その他〉

ノロウイルス等の感染症はなし。

日頃からの標準的予防策の徹底により、職員の感染予防への意識が徐々に浸透してきた。

【まとめ】

前年度同様、要介護度の重度化に比例する形で入所者の疾患の複雑化・重症化がみられる。そのため医療面での管理を要する入所者が著しく増加。また、何度も入退院を繰り返している実態がある。

入院疾患は、肺炎が非常に多い。原因として、3～5月に（インフルエンザではない）感染力の強い風邪が流行し併発したもの、胃ろうの方の嘔吐によるものが考えられる。

| | A型 | B型 |
|-------|----|----|
| 短期入所者 | 3 | 0 |
| 特養職員 | 4 | 0 |
| 短期職員 | 3 | 0 |
| 在宅職員 | 1 | 0 |
| デイ職員 | 0 | 0 |
| 合計 | 11 | 0 |

3. 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

| | 担 当 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----------------|--------------------|-----------------|----------------|----------------------------------|-----------------|---------------|
| 午前 | 介護職員 | 集団体操 (各ユニットにて) | | | | | |
| | 機能訓練指導員 | 南1丁目 個別機能訓練 | 中1丁目 個別機能訓練 | 北2丁目 集団活動 | 中2丁目 個別機能訓練 | 南2丁目 個別機能訓練 | フリー 個別機能訓練 |
| | 介護職員 | お口の体操 (各ユニットにて) | | | | | |
| 午後 | 機能訓練指導員 | 南1丁目 | 中1丁目 | フリー | 中2丁目 | 南2丁目 | フリー |
| | | 音楽クラブ (特養1階) | 風船バレー (特養1階) | 個別機能訓練 | 風船バレー (特養2階) ※(第4週) 俳句会 | 音楽クラブ (特養2階) | |
| | 理学療法士 (非常勤) | | 特養2階 宮岡PT | 個別機能訓練 十全PT | | | 特養1階 宮岡PT |

【機能訓練内容】

| 職 種 | 目 的 | 内 容 |
|------------|--------|---|
| 介護・看護職員 | 生活リハビリ | 離床、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など |
| | 集団体操 | 朝の集団体操、お口の体操 |
| 機能訓練指導員 | 個別機能訓練 | 関節可動域訓練、口腔リハ、座位・立位訓練など |
| | 集団活動 | 集団体操(朝の集団体操、お口の体操など) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど) |
| 理学療法士(非常勤) | 個別機能訓練 | 関節可動域訓練、立位・歩行訓練など |

「口腔ケアの徹底」と「心身機能の維持・向上と自然排便につながる支援」を目標に取り組む。ユニット職員による毎食事前後の口腔ケアの定着に加え、必要な人に夜間の口腔ケアを実施。個別機能訓練は、食事や言語活動につながる口腔・頸部へのアプローチに少しずつ移行した。介護職員による生活リハビリとして、対象者のできる事を実施する方向で対応。自然排便につながる支援は、全身的な活動性の維持向上や、座位の確保を念頭に置いていたが、効果的な対応の実施は不十分。

4. ユニットケアの状況

『重点目標』

- 〈 1 〉 平穏ケア（トータルケア）の実践により、穏やかな生活の支援
- 〈 2 〉 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア
- 〈 3 〉 利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着

| 目 標 | 取組事項 | 実 践 内 容 | |
|---|--|--|---|
| トータルケア の実践 アドバイザー 泉田照雄氏の 指導 | 記録システム の継続 | <ul style="list-style-type: none"> ・「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの継続 ・主任及びユニットリーダーによる「ダブルチェック（記録の確認）」とケア方法見直し検討の実践 | |
| | 基礎介護理解 の継続 | 基礎介護勉強会 の実施 | 5月「認知症」 8月「排泄」 9月「移乗」 12月「食事」 1月「入浴」 2月「褥瘡」 |
| | | ケア方法の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・食事ケア、口腔ケア、陰部洗浄ケアは、基礎介護実践が定着 ・水分ケアに関する取組（種類、夜間水分の提供） |
| | | 全国高齢者ケア 研究会への参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国高齢者ケア研究会（鳥取） 平成26年9月 7名 ・全国先端ケア研究会（静岡） 平成27年2月 4名 （共に介護主任実践事例等発表） |
| | 業務マニユアル の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット毎のシフトマニュアル（以下オペレーションシート）を作成、平常時の統一した業務内容を明確にした。また利用者及びユニットの状況変化に応じてオペレーションシートの見直しを毎月実施 | |
| 多職種協働に よる情報共有 の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・2F研修室を多職種協働連携室（以下連携室）へ転換。介護主任（補）、看護主任、生活相談員、機能訓練指導員、管理栄養士が情報共有を円滑に行う環境（カンファレンス、会議運営）として整備 | | |

| 目 標 | 取組事項 | 実 践 内 容 | |
|------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------------|
| エルダー制を継続し施設が求める人材育成の実践 | 定期面談による、職員への助言・指導の実施 | ・主任・ユニットリーダーの面談方法の統一を図り、新人職員の不安を解消し、組織人としての自覚と専門職としての責任について継続的な支援を実施 | |
| | 介護職員が働きやすく、専門性を高めることができる支援体制の実施 | 正規職員（夜勤者優先）へのリフレッシュ休暇導入 | 該当者 28 名 年間 5 連休（公休 2 日+年休 3 日）取得 |
| | | 個別面談の実施及び、能力評価によるフィードバック (年間 2 回及び随時) | |
| | 新人職員研修体制の見直しと実践 | 各研修、勉強会の充実 | ・基礎介護、その他「接遇」「口腔」「看取り」「メンタルヘルス」等 |
| 研修運営の見直し | | ・新人研修テキスト作成 ・8 日間×8 時間（基礎研修計 64 時間） ・業務進捗状況チェックシートを作成。各新人職員の習得状況を確認しながらの通年指導を実施 | |

【中 1 丁目（特養）】

『年間目標』 「一人ひとりの生活リズムを尊重した支援を行う」

年間ユニットイベント（実績）

| | | | |
|-----|---------|------|------------|
| 4 月 | 花見昼食会 | 10 月 | いもたき |
| 5 月 | 野外パーティー | 11 月 | 映画鑑賞 |
| 6 月 | あじさい鑑賞 | 12 月 | クリスマス会/忘年会 |
| 7 月 | たらいそうめん | 1 月 | 新年会 |
| 8 月 | 花火鑑賞 | 2 月 | 節分豆まき |
| 9 月 | コスモス鑑賞 | 3 月 | 菜の花鑑賞 |

年間取組と振り返り

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

| 取 組 事 項 | 評価 | 振 返 り |
|---------------------|----|--|
| ゆとりある生活を考えたケア | 2 | 利用者のペースを考えながら関われたが、職員の動きが慌ただしい場面・状況があった。 |
| 季節を感じることでできるイベントの実施 | 3 | 利用者の重度化や感染症予防対策により外出機会は減少したが、月毎にイベントを企画、実施できた。 |
| 安らげる空間づくり | 2 | ユニットのリビングに季節の花を飾るなど空間づくりを意識できた。居室については整理整頓が不十分だった。 |

【南1丁目（特養）】

『年間目標』 「利用者が笑顔で過ごせるよう支援する」

年間ユニットイベント（実績）

| | | | |
|----|---------------|-----|------------|
| 4月 | 花見昼食会 | 10月 | 散歩 |
| 5月 | 散歩 | 11月 | 散歩 |
| 6月 | 散歩 | 12月 | クリスマス会/忘年会 |
| 7月 | たらいそうめん/スイカ割り | 1月 | 新年会 |
| 8月 | 花火鑑賞 | 2月 | 節分豆まき |
| 9月 | 散歩 | 3月 | 喫茶 |

年間取組と振り返り

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

| 取組事項 | 評価 | 振り返り |
|---------------------------|----|--|
| 食事を楽しむことのできる環境づくりと提供方法の工夫 | 3 | スタッフが落ち着いた雰囲気での食事時間を考え、一人ひとりの生活リズムに合わせた食事提供を行えた。 |
| 安心・安全に暮らすことができる環境づくり | 3 | 安全面では、リビング内職員用の椅子（丸椅子）の整頓やテーブルの位置確認などを心掛け、配慮できた。各居室についても緑（花・植物）を増やし、写真を飾るなど、実践できた。 |

【中2丁目（特養）】

『年間目標』 「利用者が笑顔で毎日を暮せるよう支援する」

年間ユニットイベント（実績）

| | | | |
|----|---------------|-----|------------|
| 4月 | 花見昼食会 | 10月 | 手作りおやつ |
| 5月 | 手作りおやつ | 11月 | 手作りおやつ |
| 6月 | 手作りおやつ | 12月 | クリスマス会/忘年会 |
| 7月 | たらいそうめん/スイカ割り | 1月 | 新年会 |
| 8月 | 花火鑑賞 | 2月 | 節分豆まき |
| 9月 | 手作りおやつ | 3月 | 手作りおやつ |

年間取組と振り返り

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

| 取組事項 | 評価 | 振り返り |
|-------------------------|----|---|
| 利用者の好みに合わせた食事会やおやつ作りの提供 | 3 | 利用者の食べたい物を聞き取り、食事会を開催できた。手作りおやつは計画的に提供できたが、さらに利用者の好みに合わせた物を作っていきたい。 |
| 自然排便に向けた支援 | 1 | 全体で実践している内容（ビフィズス菌等）に留まり、排泄ケアの見直しはできなかった。 |

【南2丁目（特養）】

『年間目標』 「利用者が楽しみをもって暮らせるよう支援する」

年間ユニットイベント（実績）

| | | | |
|----|-------------|-----|------------|
| 4月 | 喫茶 | 10月 | 天ぷら昼食会 |
| 5月 | 母の日食事会 | 11月 | 喫茶 |
| 6月 | 喫茶 | 12月 | クリスマス会/忘年会 |
| 7月 | そうめん流し/七夕飾り | 1月 | 新年会 |
| 8月 | 花火鑑賞 | 2月 | 節分豆まき |
| 9月 | 喫茶 | 3月 | 喫茶 |

年間取組と振り返り

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

| 取組事項 | 評価 | 振り返り |
|-------------------|----|--|
| 毎月イベント実施 | 3 | 毎月計画的に企画、実施できた。特にそうめん流しはユニットリビングで行い、全員が参加し楽しんでいただけた。 |
| 一人ひとりの楽しみをみつけ提供する | 2 | 一人ひとりの楽しみを見つけるための情報収集はでき始めたが、ケアに活かすにはまだまだ不十分。 |

【北2丁目（短期）】

『年間目標』 「楽しく落ち着いた雰囲気でもらせるよう支援する」

年間ユニットイベント（実績）

| | | | |
|----|---------------|-----|-------------|
| 4月 | | 10月 | 屋外昼食（焼きさんま） |
| 5月 | 鯉のぼり作り/豆ごはん作り | 11月 | 亥の子 |
| 6月 | | 12月 | クリスマス会/忘年会 |
| 7月 | たらいそうめん/七夕飾り | 1月 | |
| 8月 | 花火鑑賞 | 2月 | 新年会/節分豆まき |
| 9月 | | 3月 | 喫茶 |

年間取組と振り返り

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

| 取組事項 | 評価 | 振り返り |
|-----------------------|----|---|
| レクリエーションや口腔・朝の体操を充実する | 2 | 朝・昼の体操は意識して行えた。また、レクリエーションも比較的できているが、内容が単調になりがちだった。 |
| 季節に合わせた行事の提供と掲示物の工夫 | 3 | 行事やイベントは計画的に企画、実施でき、季節を感じる内容として利用者も楽しんだ。また、リビングの壁に大きな木を掲示し、月毎に物を飾り、よい雰囲気作りができた。 |

【総評】

前年度に引き続き、記録システムの安定と重度化に対応するためのケア検討を優先して努めていくことができた。その中で、多職種協働による情報共有や検討の強化を目的として、「多職種協働連携室」を設置した。それにより効率的な情報共有、検討ができるシステムとなり、ケアの見直しを含めた早い対応が可能となった。しかし、予想以上の利用者の重度化や医療的対応の必要な方が多くなり、入退院が増え、目標稼働率（97%）の達成には及ばなかった。

人材育成については、エルダー制の導入、基礎介護勉強会を含めた研修の実施等、計画的に進めていくことができた。特に今年度は自施設の研修テキストを作成、全スタッフへ配布を行いテキストに基づいた勉強会を実施することができた。

全体としては、情報発信の視点からホームページの大幅リニューアルを行い、またブログ、ツイッター、フェイスブックを新たに開始した。時代に合わせた在り方を考えながら、より魅力ある情報発信を行える環境を整備し、継続することができた。

引き続き、看取りケアは増加している。職員一人ひとりが利用者、家族と共に最期の時を見送ることができるよう努めていきたい。施設を利用する一人ひとりが、平穏で笑顔のある暮らし（ハピネスオブライフ）の継続ができるよう、主任・リーダーを中心とした多職種協働によるチームケアをさらに定着させていきたい。

II.（介護予防）短期入所生活介護事業〈ショートステイ〉

前年度に引き続き、レスパイトケア目的の定期利用者の利用定着と利用日数の増加により、安定した稼働率を確保できた。年間の平均稼働率は前年度（88.4%）を上回る88.9%を達成。

居宅介護支援事業所等への広報活動、情報サイトへの空室情報も定期的に更新。これらの広報活動を継続して行うことにより、利用の問い合わせは日々継続的に入っている。また、これまでの新規契約者の開拓が実を結び、単発利用者の再利用相談が入るなど、リピーター数が増加。

Ⅲ. (介護予防) 通所介護事業 (デイサービス)

※ (自己評価 3: 達成 2: ほぼ達成 1: 未達成)

| 取組事項 | | 評価 | 振り返り |
|---------|------------------------------------|----|--|
| 個別ケアの実施 | 個別カンファレンスを実施し、情報共有に努めます。 | 3 | ・朝礼時にミニカンファレンスを実施。情報の共有とケアの統一に努めた。 |
| | 小グループ活動を主として、手作りおやつや趣味活動を行う。 | 3 | ・毎昼の炊飯は継続。収穫した野菜を使っておやつ作り、釜飯炊きを生活リハビリとして定期的実施。利用者の好評を得る。 |
| | 個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続を目指す。 | 3 | ・要介護利用者の8割実施。 ・リハビリ機器を導入。作業療法士(非常勤)を2名増員。 |
| 地域との交流 | 地域行事への参加とボランティアの受け入れ。 | 3 | ・公民館で開催の文化祭やさつき展、獅子舞見物等へ積極的に参加。 ・三味線、フラダンス、ギター等地域住民を含む複数ボランティアの訪問増加。 |
| | 東温市通所の会や介護ネット東温への参加によるネットワークの構築。 | 3 | ・東温市通所の会、介護ネット東温の突合、交流会等への参加。 ・他事業所職員との交流、情報交換が充実。 |
| | 地域(保育園・学校)や家族(おとこ塾)との交流。 | 3 | ・川内保育園(3回)、川上幼稚園(2回)、川上小学校(3回)、東谷小学校(1回)川内中学校(1回)との交流を実施。 ・3月の卒園・卒業時には、保育園、幼稚園、小学校へ手作りの祝辞カードを利用者と持参。 ・おとこ塾へ参加。 |
| 職員研修 | 施設内外研修に参加し、基礎介護力の向上を目指す。 | 2 | ・施設内研修(基礎介護勉強会)へ随時参加。 ・施設外研修(安全運転講習会、レクリエーションリーダー養成講習会等)へ職員派遣。 |
| | 業務内容の見直し(記録システムの改善等) | 2 | ・記録用紙の見直し、掃除の当番制導入などの効率的な業務分担を実施。今後もより一層の見直しを図る。 |
| 安定運営の確保 | 毎月の実績に関心を持ち、コスト意識を高めます。 | 2 | ・稼働率、適正な備品使用等の部署内での周知が不十分。今後より一層コストパフォーマンスへの意識を高めたい。 |
| | 介護支援専門員と連携して、広報活動を行ない、新規利用者の発掘を行う。 | 2 | ・ブログを開始し、活動状況を掲載。不特定多数の閲覧者の獲得により広報活動が充実。 ・居宅介護支援事業所へ随時訪問を実施。 【体験利用者19名、新規利用者31名】 |

・苦情処理 苦情処理件数 1件

・事故 事故発生件数 21件

| 事故レベル | 内容 | 件数 |
|-------|-----------------|----|
| I | ミスをした、または異常なレベル | 15 |
| II | バイタル異常及び要観察レベル | 5 |
| IV | 入院加療が必要なレベル | 1 |
| 合計 | | 21 |

IV. 居宅介護支援事業

1. 重点目標の評価

居宅サービス担当月間人数について、予防 22 名、介護 100 名を目標としていたが、予防 23.3 名、介護 100.5 名と、目標件数を達成。昨年（予防 20.6 名、介護 90 名）と比較すると、継続的に担当者数を維持。

新規相談としては、相談のみでサービスにつながらなかった方を除き、年間 43 件対応。相談者としては東温市包括支援センターが 25 件と 60%近くを占め、残り 40%弱はご家族や病院からの依頼。今後も地域包括支援センターや各医療連携室等との連携により新規の獲得に努めていきたい。

| 取組事項 | 振り返り |
|----------|---|
| 在宅生活の維持 | 在宅総合記録シートの導入等により、体調管理や楽しみのある生活を目指した介護計画を提案し、住み慣れた地域でサービスが受けられるよう各事業所との連携を図った。また、おとこ塾等家族介護者に対する支援も実施。 |
| 資質の向上 | 担当しているご家族等へのアンケートを実施。ケアプランの内容やコミュニケーション等への意見、概ね良好との評価を受けた。全国地域包括ケア研究会へ参加、事例発表等を実施。今後も研修や勉強会へ積極的な参加を行い、基礎介護や相談援助等の資質向上を目指す。 |
| 地域活動への参加 | 地域包括ケアを目指した他事業所及び多職種との連携を積極的に図り、気軽に相談できる体制づくりを目指した。また、一部地域ではあるが地区診断を実施。地域の生の声を聞くことにより、高齢になっても住みやすい町づくりについて他事業所と一緒に検討することができた。 |

2. アンケートの実施

対象者 : 平成 26 年 9 月現在の居宅介護支援事業所の利用者 80 名

内容 : 居宅サービス計画内容やサービスの調整などの業務だけではなく、ケアマネージャーの言葉遣いや態度についても調査を実施。

結果 : 56 名からの返答があり、行政や介護保険法に対する要望などが寄せられたが、既に対応しており、不満や苦情などはなかった。

3. 苦情処理 苦情処理件数 1 件

・サービス関係車輛の路上駐車についてご意見があった。周囲の住民の方々への配慮が欠けていた面があったため、確実に支障がない場所に駐車させていただくよう徹底する。

4. 事故 事故発生件数 0 件

V. 在宅介護支援センター

1. 活動実績報告

【相談件数及び内訳】

| | 内 訳 | 件 数 | 合 計 |
|------|----------|-----|-----|
| 区分 | 新規 | 145 | 984 |
| | 継続 | 839 | |
| 相談区分 | 家族 | 59 | 984 |
| | 本人 | 800 | |
| | 関係機関 | 119 | |
| | その他 | 6 | |
| 世帯 | 独居 | 552 | 984 |
| | 高齢者のみ | 176 | |
| | その他 | 259 | |
| 相談方法 | 電話 | 191 | 984 |
| | 来所 | 185 | |
| | 訪問（電話受付） | 567 | |
| | その他 | 41 | |

【相談内容及び対応】（重複あり）

| 相談内容 | 件 数 |
|-------------|-----|
| 疾病・健康 | 708 |
| 介護 | 97 |
| 在宅・福祉サービス利用 | 472 |
| 入所・入院 | 10 |
| 消費者被害 | 3 |
| 経済的 | 6 |
| その他 | 42 |

| 対 応 | 件 数 |
|--------------|-----|
| 助言・指導 | 764 |
| 他機関連絡 | 123 |
| 申請代行 | 26 |
| 電話・訪問等での安否確認 | 226 |
| ケアマネ後方支援 | 2 |

毎月の連絡調整会で、地域住民の実態やニーズを把握し情報共有することで、協働・連携が取りやすくなった。また、高齢者に身近な相談機関として周知し体制整備が図れた。

今後は、新地域支援事業移行に向けて地域の社会資源の把握に努め、住民の主体的な助け合い活動の意義、地域で取り組んでいくための情報提供等、検討していかねばならないと考えている。

2. ふれあい・いきいきサロン参加事業

| ふれあい・いきいきサロン | サロン名 | 場 所 | 参加人数（名） | 内 容 |
|--------------|---------|---------|---------|---|
| | 井内友愛会 | 井内公民館 | 13 | 口腔ケアについて 口から食べることの大切さ お口体操等 （実技や歌等実施） 施設紹介 健康バイタルチェック ※にこにこサロンは施設見学実施 |
| | よこなだサロン | 横灘団地公民館 | 12 | |
| | 小町サロン | 上砂区集会所 | 15 | |
| | にこにこサロン | 町東公民館 | 10 | |
| | まん月会 | 竹之鼻集会所 | 22 | |
| | 滑川サロン | 滑川公民館 | 12 | |
| | なごみサロン | 狩場集会所 | 18 | |
| | 天神サロン | さくら湯 | 15 | |
| | にこにこサロン | 町東集会所 | 6 | |
| | 参加人数合計 | | 123 | |

3. その他地域関連事業

| | 事業名 | 内容 | 主催者 |
|------------------------|---------------------|------------------|---------------|
| 地域 関 連 事 業 | 民生委員（高齢者部会） | ガリラヤ荘施設見学、意見交換あり | |
| | 行方不明高齢者捜索訓練 | 行方不明認知症高齢者捜索訓練想定 | 介護ネット東温 |
| | 認知症サポーター養成講座 入門編 | ガリラヤ荘にて実施 | 東温市地域包括支援センター |
| | 認知症サポーター養成講座 実践編 | ガリラヤ荘にて実施 | 東温市地域包括支援センター |

サロンでは、口腔ケアの大切さについて出前講座を行い、普段の生活の中でお口の手入れがいかに大切で病気予防につながるかをお伝えした。分かりやすく理解でき、多くの方から継続しているとの感想もいただく。予防事業の観点から今後も積極的に取り組んでいきたい。

認知症に関しても、徘徊ネットワークの構築、認知症の予防・早期発見・ケアに繋ぐ体制作り、認知症サポーター等地域で見守るネットワーク作りに取り組み、今後も積極的に啓発・広報活動に努めたい。

VI. (介護予防) 訪問介護事業〈ホームヘルプサービス〉

1. 重点目標の評価

11月より事業開始。利用者、スタッフ共に前事業所からの利用であったため、スムーズにスタートができた。

| 取組事項 | 振り返り |
|---------|--|
| 在宅生活の維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・自宅で安心して生活できるために在宅生活のサポートをケアマネジャーやサービス事業者と情報を共有しながら行えた。 ・担当者会議での関係機関との情報共有ができた。 |
| 職員研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修の参加 ・月末にヘルパー会を開催し、ヘルパーの専門性の向上と情報共有が図れた。 ・東温市の介護ネットへの参加 |
| 安定運営の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・各居宅介護支援事業所への挨拶回り、広報活動を行った。 ・ヘルパー会において安全確保に徹したサービスの提供と適切な接遇態度を身につけるための学習ができた。 |

2. 苦情処理 苦情処理件数 0件

3. 事故 事故発生件数 0件

VII. 防災・救命

【訓練実施状況】

| | 第1回 消防訓練 | 第2回 消防訓練 | 普通救命講習 I | 第3回 消防訓練 | 南方東地区・地域 防災訓練（協力） |
|------|---|---|---|----------------------------|--|
| 想定内容 | 夜間の火災 (1階厨房) | 昼間の火災 (1階陶芸室) | | 火災・地震 | |
| 日付 | 5月27日(火) | 6月15日(日) | 8月27日(水) | 11月13日(木) | 11月16日(日) |
| 実施時間 | 20:00~20:40 | 14:00~15:30 | 18:00~21:00 | 17:00~18:00 | 8:15~11:00 |
| 場所 | ガリラヤ荘 及び職員宅 | ガリラヤ荘 | ガリラヤ荘 | 東温市 防災センター | ガリラヤ荘 (職員駐車場) |
| 参加者数 | 職員 90名 | 利用者 90名 自主防災会役員 15名 職員 50名 計 155名 | 職員 22名 | 職員 15名 | 地域住民 177名 職員 14名 計 191名 |
| 内容 | 実際に火災報知機を作動。通報訓練と夜間緊急時連絡表を使用した非常招集訓練を実施 | 南方東自主防災会と合同で訓練を実施。レスキューシート・毛布・車椅子を使用した避難方法を消防署員が実演。 | 心肺蘇生法・AEDの使用法・異物除去法・止血法等を学び、受講者全員、普通救命講習修了証を取得。 | 消防署員の指導により、消火・地震・煙避難体験を実施。 | 「要援護者と福祉避難所の理解を深めよう」という地域自主防災会からの提案により、合同訓練を実施。「車椅子の方を避難させるポイント」等、施設職員が実演を交えアドバイス。 |

VIII. 各委員会報告

【衛生管理委員会】・・・毎月開催

3～5月に感染力の強い風邪を感染拡大させてしまったことを教訓に、日頃から徹底した標準的予防策を実施。結果、年末発症のインフルエンザは感染拡大することなく終息。予防策の周知徹底や定期的な勉強会の実施により、年々職員の感染予防への意識も高まってきている。

【褥瘡対策委員会】・・・毎月開催

毎月各ユニットから予防対策が必要な入所者を抽出、栄養士とも協力して褥瘡ハイリスク者への対策を行った。専門機関（皮膚科・理学療法士等）と連携を取り、具体的な対策を検討。ここ数年、重度の褥瘡の発生はない。定期的な委員会・勉強会の開催により個々の褥瘡予防に対する意識も高くなっている。今後も栄養マネジメントと連動しながら早期発見を行い、皮膚科専門医と連携し更なる褥瘡予防に努める。

【権利擁護・苦情相談委員会】・・・随時開催（平成26年6月25日）

平成25年度の苦情相談報告（1件）及び事故等の相談報告を行い、第三者委員から助言を受けた。

平成26年度苦情件数 2件

| | 事例 1 | 事例 2 |
|----|--|--|
| 内容 | 転倒事故の状況説明が不十分 (ショートステイ) | 特定の介護職員の接遇態度について、具体例を挙げての指摘を受ける |
| 対応 | 家族に来荘依頼。 施設長、看護主任、生活相談員が対応。 転倒時の状況について詳細を説明、説明不足についての謝罪を述べ、了承を得る。 施設が費用負担し病院受診。 | 施設長、生活相談員が対応。 貴重な意見を頂いたことへの感謝・お礼を伝える。 後日、朝礼時に施設長より全職員に向けて周知。 |

【身体拘束廃止委員会・高齢者虐待防止委員会】・・・毎月開催

身体拘束件数 0件

高齢者虐待件数 0件

- ・委員を中心に施設指針や虐待事例を職員に周知、虐待等が起こらない環境づくりに努めた。
- ・委員会にて定期チェックを実施。不適切ケアの確認、改善を検討。
- ・虐待防止・ストレスマネジメントについての研修会、介護技術・認知症等の勉強会を実施。

【給食委員会】・・・毎月開催

栄養ケアマネジメントの実施により、利用者の摂食状況や提供方法、献立等について委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食の提供、玄米食による排便コントロールを実施。誤嚥が減り食事量の増加につながる。今後より一層、味・見た目共に満足していただけるソフト食の提供に努める。

【在宅委員会】・・・毎月開催

ガリラヤ荘在宅部門（居宅介護支援・通所・訪問介護・短期入所生活介護事業所）が、部署間の情報共有及び連携を図り地域の支えとなるよう、システムを構築・強化するため、具体的な方策を協議。男性介護者の交流の場として立ち上げた「おとこ塾」も継続、今年度は3回企画開催。会員より「遠足気分ですぐ早く来てしまった」「次は広田へ流しそうめんを食べに行こう」などの積極的な声がある。

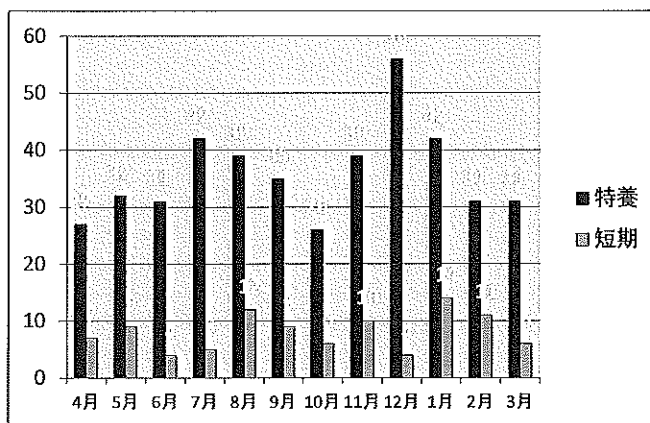
今回は、地域の方に認知症の理解と関わり方を学んでもらうことを目的に、認知症をテーマにした寸劇を企画中。

【安全（事故発生防止）委員会】

1. 月別発生件数

| 月 | 特養 | 短期 | 月計 |
|-----|-----|----|-----|
| 4月 | 27 | 7 | 34 |
| 5月 | 32 | 9 | 41 |
| 6月 | 31 | 4 | 35 |
| 7月 | 42 | 5 | 47 |
| 8月 | 39 | 12 | 51 |
| 9月 | 35 | 9 | 44 |
| 10月 | 26 | 6 | 32 |
| 11月 | 39 | 10 | 49 |
| 12月 | 56 | 4 | 60 |
| 1月 | 42 | 14 | 56 |
| 2月 | 31 | 11 | 42 |
| 3月 | 31 | 6 | 37 |
| 年計 | 431 | 97 | 528 |

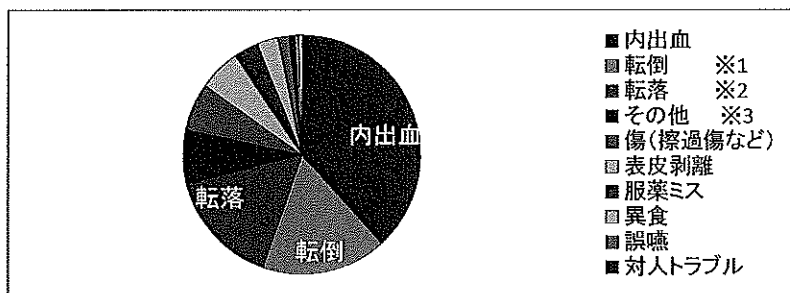
(前年度 464件)



2. 内容別発生件数

| 内 容 | 件 数 |
|----------|-----|
| 内出血 | 202 |
| 転倒 ※1 | 90 |
| 転落 ※2 | 83 |
| その他 ※3 | 39 |
| 傷（擦過傷など） | 34 |
| 表皮剥離 | 30 |
| 服薬ミス | 18 |
| 異食 | 15 |
| 誤嚥 | 8 |
| 対人トラブル | 4 |
| 在宅酸素ミス | 3 |
| 徘徊 | 2 |
| 合 計 | 528 |

- ※1・・・立上りや歩行での転倒
- ※2・・・車椅子、椅子、ソファ等からの尻もちや、座り込みを含む
- ※3・・・パルンカテーテルの抜去やベッドでの動きなど、事故危険があったものを含む



2-1 報告レベル内訳

| レベル | 内 容 | 件 数 |
|-----|------------------|-----|
| I | ミスをしたまたは、異常なしレベル | 365 |
| II | バイタル異常及び要観察レベル | 146 |
| III | 治療が必要だが軽度レベル | 10 |
| IV | 入院加療が必要レベル | 6 |
| V | 後遺症が残るあるいは死亡レベル | 1 |
| 合 計 | | 528 |

- ※) インシデント（ひやり・はっと）レベル
- ※) インシデント及びアクシデントレベル
レベルIIIはアクシデントのみ
- ※) 介護事故（市町村報告）

2-2 病院受診を行ったケース・・・20件

| 内 容 | 件 数 | 発生率 (%) |
|-----|-----|---------|
| 転倒 | 9 | 4.5 |
| その他 | 4 | 10.3 |
| 転落 | 3 | 3.6 |
| 誤嚥 | 2 | 25.0 |
| 内出血 | 1 | 0.5 |
| 傷 | 1 | 2.9 |
| 合 計 | 20 | |

(前年度 20件)

2-3 市町事故報告届け出件数・・・11件

| 内 容 | | 件 数 | | | |
|------|-----|-------|----|-------------------|------|
| 死亡 | 誤嚥 | 9/25 | 1 | ※食事中 | 【特養】 |
| 入院 | 転倒 | 5/3 | 1 | ※椅子立上り(右大腿骨頸部骨折) | 【特養】 |
| | | 7/15 | 1 | ※歩行(右大腿骨転子部骨折) | 【特養】 |
| 処置 | 転倒 | 7/13 | 1 | ※排泄トイレ(左後頭部裂傷) | 【特養】 |
| | | 9/9 | 1 | ※ベッド臥床(右臉裂傷/打撲) | 【特養】 |
| | | 11/20 | 1 | ※歩行(左肩内出血、左上腕骨折) | 【短期】 |
| | その他 | 4/16 | 1 | ※ベッド臥床(左大腿骨頸部骨折) | 【特養】 |
| | | 8/24 | 1 | ※ベッド臥床(左前腕部内出血) | 【短期】 |
| | | 9/19 | 1 | ※排泄トイレ(左上腕部遠位端骨折) | 【特養】 |
| 異常なし | 転倒 | 8/13 | 1 | ※排泄トイレ(右手指剥離) | 【短期】 |
| | | 10/9 | 1 | ※歩行(右顔面打撲) | 【短期】 |
| 合計 | | | 11 | | |

(前年度 9件)

3. 発生(発見)場所件数

| 場 所 | 件 数 | 発生率(%) |
|----------|-----|--------|
| 居室 | 308 | 58.3 |
| リビング | 132 | 25.0 |
| 浴室(ユニット) | 27 | 5.1 |
| 脱衣室 | 33 | 6.3 |
| 浴室(特浴室) | 16 | 3.0 |
| 廊下 | 6 | 1.1 |
| 居室トイレ | 2 | 0.4 |
| 共用トイレ | 1 | 0.2 |
| ユニット和室 | 1 | 0.2 |
| ユニットキッチン | 1 | 0.2 |
| 屋外 | 1 | 0.2 |

4. 発生(発見)状況件数

| 状 況 | 件 数 | 発生率(%) |
|-----------|-----|--------|
| ベッド上 | 160 | 30.3 |
| 車椅子上 | 79 | 15.0 |
| 移動(歩行) | 52 | 9.8 |
| 排泄(オムツ) | 29 | 5.5 |
| 更衣 | 27 | 5.1 |
| 入浴(個浴) | 26 | 4.9 |
| 排泄(トイレ) | 26 | 4.9 |
| 食事 | 25 | 4.7 |
| 移乗 | 18 | 3.4 |
| ソファ上 | 17 | 3.2 |
| 椅子 | 13 | 2.5 |
| 移動(車椅子) | 12 | 2.3 |
| 入浴(特浴) | 12 | 2.3 |
| 整容 | 11 | 2.1 |
| 排泄(PWC) | 8 | 1.5 |
| その他 | 4 | 0.8 |
| 床 | 4 | 0.8 |
| 移動(這う) | 3 | 0.6 |
| 口腔ケア | 1 | 0.2 |
| 入浴(チェアイン) | 1 | 0.2 |

考察《全体》

- I
 - ・件数は、前年度と比較し増加傾向。インシデントレベル(ひやり・はっと記録)が、全体の約2/3を占めている。※2-3参照。
 - ・件数の増加は軽度の内出血(3cm以下)に因る。
 - ・アクシデントとして認めるレベルⅢ以上については17件(前年度23件)と減少。しかし、入院治療を要する事故も発生しており、現行の対策(センサーの設置、ハイリスク者の見守り・付添強化)では予防の難しいケースがある。今後は、さらに機能訓練や日々の生活リハビリによる身体的な評価も交えながら、より効果的な予防策の実践ができるよう多職種協働で取組みたい。
 - ・また、服薬ミスは、前年度より増加(18件)したため、現在の配薬、服薬方法の見直しを行うことで、早急な改善に努めたい。

- II
 - ・重大事故発生予防とした年間活動は、毎月の安全委員会内で事例検討を実施、原因分析や予防策について全体への周知に努めた。
 - ・全体研修としてリスクマネジメント研修会を開催。KYT(危険予測トレーニング)により、特に経験年数の浅いスタッフに対する教育を実施。

IX. 行事、施設内研修、実習受入の状況

| 月 | 施設行事等 | 施設内研修 | 実習受入 |
|----|---|---|---|
| 4 | 入職式 永眠者記念会 おとこ塾（お花見） | 新任・現任者研修 | 松山城南高等学校介護実習 |
| 5 | 花の日訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園） 動物園外出（3日目雨天中止） 消防訓練（夜間通報） | 基礎介護勉強会（認知症） 接遇研修 | 愛媛大学医学部看護科介護体験 同志社大学教育学部介護体験 |
| 6 | 花の日訪問（川上教会） 花の日訪問（松山城南高等学校） 職員会 愛隣保育園芋の苗つけ 消防訓練（消防署・南方東自主防災会） | 食中毒勉強会 | 愛媛大学医学部看護科介護体験 |
| 7 | サマーボランティア受入 エアコンクリーニング 福祉の仕事1日体験（川上・西谷・東谷小学校・川内中学校・東温高校） 東温高校奉仕活動（71名） アロママッサージボランティア おとこ塾（バーベキュー） | 拘束虐待勉強会 口腔ケア勉強会 | 東温高等学校ヘルパー2級実習 松山城南高等学校介護実習 |
| 8 | 川内中学校職場体験実習（2日間） エアコンクリーニング しあわせのつどい（国際ホテル） 入居者レントゲン健診 ねたきりになら連踊り披露（松山まつり雨天中止の為） ほほえみの里地域交流会参加 | 移乗・移動研修会 基礎介護勉強会（排泄） 普通救命講習Ⅰ 介護職員医療行為フォローアップ研修 | 松山城南高等学校介護実習 東温高等学校ヘルパー2級実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護福祉士実習 みなら支援学校施設見学実習 |
| 9 | 東温市長一日施設長就任・赤ちゃんご贈呈式 チャイニーズバス運用開始 介護相談員合同連絡会 グループホームやわらぎ夏祭り参加 川上教会落成式 職員会 おとこ塾愛媛新聞取材・掲載 | 基礎介護勉強会（移乗） 法令遵守研修 メンタルヘルス勉強会 | 愛媛大学医学部介護体験 河原医療専門大学校老年看護学実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護福祉士実習 愛媛大学教育学部介護体験 |
| 10 | 運動会 秋祭り（松瀬川獅子舞保存会施設訪問） 空調フィルター・網戸・窓ガラス清掃 愛隣保育園芋掘り 多職種連携室運用開始 カーテンクリーニング | 感染症勉強会 クニコ勉強会 看取り研修 | 河原医療福祉専門学校介護実習 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 愛媛大学教育学部介護体験 |
| 11 | ガリラヤ荘感謝祭（第2回） 人権の花贈呈式 南方東地区防災訓練 収穫感謝訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園） 収穫感謝訪問（川上教会） 東温市文化祭出展・見学 カーテンクリーニング 床清掃・ワックス掛け 愛媛県知事選挙不在者投票 ピフィズ菌末試験開始 希望の館情報交換会 東温市防災センター新人（地震・煙避難体験） 川内中学校交流会 | 感染症勉強会 | 河原医療福祉専門学校介護実習 東温高等学校インターンシップ 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山城南高等学校介護実習 愛媛大学教育学部介護体験 |
| 12 | 東温市社協歳末施設訪問 人権相談所（人権の花） ウィンターボランティア受入 川内婦人会歳末訪問 衆議院議員総選挙不在者投票 東温市福祉大会 職員会 四国老人福祉学会 | 基礎介護勉強会（食事） 個人情報研修 | |
| 1 | | 基礎介護勉強会（入浴） | 松山城南高等学校介護実習 河原医療福祉専門学校介護実習 |
| 2 | 松山大学社会福祉士実習 実地指導 東谷小学校鉢植え贈呈 四国老協セミナー 東温市認知症研修会 | 介護職員医療行為フォローアップ研修 基礎介護勉強会（褥瘡） 口腔ケア勉強会 | |
| 3 | 家族会総会 介護相談員合同連絡会 家族会総会 職員会 にこにこサロン | リスクマネジメント研修 | 松山大学社会福祉士実習 東雲女子大学実習意見交換会 |

| | 通年 | 委員会活動 | クラブ活動 |
|-----|--|---|--|
| その他 | 各ユニットでの誕生屋敷会 おやつ、お茶の時間（毎日） 訪問理容 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 医師の回診 嘱託医5名 訪問販売（スーパードもちか・第2火曜日） パンの移動販売（週2回） | 運営委員会 安全（事故発生防止）委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 褥瘡対策委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 ケア向上勉強会 在宅委員会 | 陶芸（隔週水曜日） 俳句会（第3木曜日） |
| | | | ボランティア・その他 川内ともしび会 紙芝居ボランティア 介護相談員 傾聴ボランティア（笑顔に会いたい） トーンチャイムレインボー オカリーナそよ風 |

X. 研修の状況【施設外研修】

【特養・ショートステイ 部門】

| 月日 | 研修名 | 研修内容 | 主催 | 備考 | |
|-------|----------------------------------|---|---------------|--|-------|
| | | | | 職種 | 人数(名) |
| 5 20 | 第10回愛媛県老人福祉施設大会 | 認知症ケアの実践 | 県老人福祉施設協議会 | (主任補)介護職 | 1 |
| 6 15 | 第5回愛媛県口腔ケア実践講習会 | 合併症を見逃さない口腔ケア・多職種が関わるプロトコルの構築 | ティーアンドケー | 機能訓練指導員 | 1 |
| 6 16 | 看護職員研修会 | 特養における看護のあり方 | 中予地区老人福祉施設協議会 | 看護職 | 1 |
| 6 23 | 介護の知識50検討委員会 | 高齢者ケアのレベルアップ・推進 | 全国高齢者ケア研究会 | (主任)介護職 | 1 |
| 7 17 | 排便コントロール向上セミナー | 「おむつゼロ」運動への取組み、開設当初からおむつゼロを達成した実践事例 | 太陽化学 | (主任)介護職 | 1 |
| 7 19 | 第5回愛媛医療センター地域医療連携交流会 | 最近の糖尿病治療の紹介 | 愛媛医療センター | (主任補)生活相談員 | 1 |
| 7 31 | 地区別懇談会及び施設長特別研修会 | 虐待を生み出さない施設づくりとは | 中予地区老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 |
| 8 1 | 「安全な移乗・移動介助の方法」研修会 | 安全な介護の考え方、介護の基本方針、適切な介助法の考え方 | 中予地区老人福祉施設協議会 | (主任補)介護職 介護職 | 計3 |
| 8 5 | サービス向上研修会 第2回ターミナルケア(看取り研修) | ターミナル期の利用者の心身の変化とケアする側の心構えやケアの方法 | 県社会福祉協議会 | 生活相談員 | 1 |
| 8 31 | 排便法の実践 | 喀痰法、スクイーピング、肺ドレナージなどの実際の講義と実技研修 | 「口から食べたい」実行委員 | 施設長 (主任)看護職 | 計2 |
| 9 19 | | | | | |
| 10 17 | 第2回リフレサポート講座 | オムツの基礎知識、排泄のメカニズム他 | リブドゥコーポレーション | (SL)看護職 | 1 |
| 11 21 | | | | | |
| 9 6 | 第10回全国高齢者ケア研究会 第3回全国地域包括ケア研究会 | 特養要介護3時代へ生き残りをかけた重度化対策の決定版「トータルケア」 地域包括ケアの10年後を先取りした現場がある/最前線の実践レポート | 全国高齢者ケア研究会 | 理事長 施設長 (主任)生活相談員 (主任)介護職 (主任補)生活相談員 | 計6 |
| 9 7 | | | | | |
| 9 30 | 第2回特定給食施設等関係者研修会 | 感染症対策の知識と実践・高齢者の栄養アセスメントの理論と実際 | 中予保健所 | 管理栄養士 | 1 |
| 12 1 | | | | | |
| 12 2 | 地域包括ケア・マネジメント研究会 | 地域包括ケア時代の新しいケアマネジメントの実践発表と意見交換 | 全国高齢者ケア研究会 | 施設長 | 1 |
| 12 3 | | | | | |
| 12 7 | 第18回口から食べたい講演会 | 生きる力を引き出す食支援と地域連携 | 伊予歯科医師会 | 施設長 (主任)看護職 機能訓練指導員 | 計3 |
| 12 13 | 四国老人福祉学会第34回大会 | 四国の高齢者問題に関する研究と実践の推進、会員相互の連携を図る | 四国老人福祉学会 | 理事長 施設長 (主任)介護職 | 計3 |
| 12 17 | 食と嚥下と口腔ケア研修会 | 食と嚥下と口腔ケアの実践 | 中予地区老人福祉施設協議会 | (副主任)看護職 | 1 |
| 1 14 | 介護職員技術向上講習会 (認知症介護・初級コース) | 認知症に関する正しい知識の習得と専門性を高める | 県社会福祉協議会 | 介護職 | 1 |
| 1 20 | 相談員のためのスキルアップ研修 | 相談員業務の見える化と7つの専門機能、 相談員の仕事力と役割発揮のコツ | 福祉と介護研究所 | (主任)生活相談員 | 1 |
| 2 19 | | | | | |
| 2 1 | | | | | |
| 2 2 | 第6回全国先端ケア研究会IN静岡 | 介護サービス利用者における更なる重度化、医療との連携の深化への対応を進める | 全国高齢者ケア研究会 | 施設長 (主任)介護職 (主任補)介護職 管理栄養士 | 計4 |
| 2 3 | | | | | |
| 2 4 | | | | | |
| 2 5 | 第13回四国老施協セミナー | 老人福祉施設を取り巻く現状と課題について認識し、問題解決のための糸口を学び、地域を支え、地域に必要とされる魅力ある施設づくりを推進する | 四国老人福祉施設協議会 | 施設長 (主任補)生活相談員 | 計2 |
| 2 6 | | | | | |
| 2 20 | 認知症ケア研修会 | 事例検討を通じてよりよい認知症ケアの方法を探り実践につなげる | 県老人福祉施設協議会 | (SL)介護職 | 1 |
| 3 28 | 第2回中予地区別勉強会 | 排便ケアの事例検討、おむつの当て方のミニレクチャー | えひめ排泄ケア研究会 | (主任)看護職 (L)介護職 | 計2 |
| 5 10 | | | | | |
| 5 11 | | 全体講義 | | | |
| 5 12 | 介護支援専門員更新(専門)研修 【研修課程Ⅰ】 | | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | 1 |
| 5 17 | | 選択講義 | | | |
| 6 1 | | 演習 | | | |
| 5 31 | | 全体講義 | | | |
| 7 12 | 介護支援専門員更新(専門)研修 【研修課程Ⅱ】 | | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | 計2 |
| 7 13 | | 事例研究・演習 | | | |
| 7 26 | | | | | |
| 7 27 | | | | | |
| 8 8 | | | | | |
| 8 13 | | | | | |
| 8 14 | | | | | |
| 8 20 | | | | | |
| 8 21 | 愛媛県喀痰吸引等研修(不特定の者対象) | 喀痰吸引等研修(不特定の者対象)基本研修、演習による資格取得 | 愛媛県 | (SL)介護職 | 1 |
| 8 22 | | | | | |
| 9 1 | | | | | |
| 9 2 | | | | | |
| 9 3 | | | | | |
| 9 4 | | | | | |
| 9 16 | 上記の筆記試験 | 喀痰吸引等研修(不特定の者対象)資格取得 | | | |

介護関係

資格関係

研修の状況【施設外研修】

【特養・ショートステイ 部門】

| | 月日 | 研修名 | 研修内容 | 主催 | 備考 | | |
|----------|-------|------------------------------|---------------------------------------|--|----------------|----------------|--------|
| | | | | | 職種 | 人数(名) | |
| 介護保険制度関係 | 7/8 | 第63回四国老人福祉施設関係者研究大会 | 地域の課題と老人福祉施設等の役割 | 四国老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 7/9 | | 介護保険制度の見直しについて(デイサービス) | | | | |
| | 10/10 | 介護給付費等のインターネット請求に関する説明会 | 介護給付費等のインターネット請求について | 県保健福祉部 | (主任)生活相談員 | 1 | |
| | 1/23 | 平成27年度介護保険制度改正対策セミナー | 最新情報、今後の事業運営へどのように備えるか | 日本コンピュータコンサルタント | 理事長 施設長 | 計2 | |
| | 3/5 | 第2回総会・施設長研修会 | 改正介護保険とこれからの高齢者施設の動向 | 中予地区老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 3/10 | 2015年地域包括ケア経営者研究会 | これからの在宅サービスのあり方 | 全国高齢者ケア研究会 | 理事長 施設長 | 計2 | |
| | 3/11 | | 介護報酬改定に係る事業者説明会 | | 介護報酬改定内容の説明 | | 県中予地方局 |
| | 3/23 | 介護報酬改定に係る事業者説明会 | 介護報酬改定内容の説明 | 県中予地方局 | (主任)生活相談員 | 計2 | |
| | 3/29 | 平成27年度介護報酬改定セミナー | 厚生省担当官による改定内容の解説 | 愛媛銀行 | 理事長・施設長 | | |
| 実習 | 6/7 | 介護福祉実習報告会 | 実習に関する報告 | 聖カタリナ大学 | (主任)介護職 介護職 | 計2 | |
| | 2/28 | 介護実習指導者に関する勉強会 | 介護実習指導に関する施設側と大学とのより一層の連携を図る | 松山東震短期大学 | (主任補)介護職 | 1 | |
| 防災 | 5/30 | 東温防火管理者連絡協議会理事会・総会 | 消防法改正について | 東温防火管理者連絡協議会 | (主任補)生活相談員 | 1 | |
| 人事管理関係 | 4/23 | 第1回総会・施設長研修会 | 職員のキャリア形成を促す人材育成 | 県老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 5/20 | 第10回愛媛県老人福祉施設大会 | 施設単位の人材育成・組織作り、職員処遇 | 県老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 6/6 | 第1回総会・施設長研修会 | 心の豊かさとお勤の大切さ | 中予地区老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 6/12 | 改正均等法施行規則・両立支援助成金等説明会 | H26年7月1日改正・男女雇用機会均等法施行規則等 | 愛媛労働局 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 6/26 | コーチング講座 | 部下職員の意欲を引き出し、能力を伸ばす効果的なコーチング技術の考え方や手法 | 県社会福祉法人経営者協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 7/12 | 学内福祉就職相談会 | 福祉事業所が直接就職相談を実施 | 聖カタリナ大学 | 施設長 (主任)介護職 | 計3 | |
| | 7/28 | 介護施設事業場における労働条件の確保・改善等に係る説明会 | 介護労働者の法定労働条件・安全衛生の確保等 | 松山労働基準監督署 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 7/30 | 改正納付金制度・助成金説明会 | 障害者雇用納付金制度改正に伴う具体的な事務手続き等の説明 | 高齢・障害者雇用支援センター | (主任)事務職 | 1 | |
| | 9/18 | 雇用管理責任者講習 | 労働管理の注意点、賃金管理 | 介護労働安定センター | 施設長 | 1 | |
| | 10/17 | 社会福祉施設新任施設長等研修会 | 人材マネジメントの基本的な考え方、メンタルヘルス対策 | 県社会福祉法人経営者協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 11/4 | 職員が定着する職場づくり研修会 | 人が集まる働きがいのある職場づくりに向けて | 中予地区老人福祉施設協議会 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 1/21 | 改正パートタイム労働法・次世代育成支援対策推進法等説明会 | 改正法令等の内容を理解し、法に沿った雇用管理の実施 | 愛媛労働局雇用均等室 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 1/21 | 合同就職面接会 | 人材確保 | 松山公共職業安定所 | (主任)介護職 | 1 | |
| | 2/19 | 退職共済実務研修及び福利厚生センター担当者研修会 | 魅力ある職場・安心のある職場づくりに向けた取り組み | 県社会福祉協議会 | 事務職 | 1 | |
| | 3/2 | 平成27年度学校法人河原学園医療福祉系合同企業セミナー | 就職セミナー | 河原学園 | 施設長 (主任)介護職 | 計2 | |
| | 3/18 | 雇用管理責任者講習 | 適切な雇用管理の実施 | 介護労働安定センター | (主任)事務職 | 1 | |
| | 会計関係 | 6/18 | 新会計研修 | 必要な会計処理等の知識 | 県老人福祉施設協議会 | 施設長 | 1 |
| | | 9/17 | 第2回新会計基準対策セミナー | 新会計への移行対応セミナー・新会計移行への完全対応 | 総合福祉研究会愛媛支部 | 事務職 | 1 |
| | | 12/18 | 社会福祉法人監査・会計研修会 | 社会福祉法人における監査機能の充実、資質及び能力の向上を図り、新会計基準に対する理解を深める | 県社会福祉法人経営者協議会 | 施設長 (主任)事務職 | 計2 |
| その他管理関係 | 7/24 | 安全運転管理者講習 | 安全運転に関する講義 | 松山南安全運転管理者協議会 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 9/9 | 法人理事長研修会 | 社会福祉法人を取り巻く経営環境の変化とこれからの取組み | 県社会福祉法人経営者協議会 | 施設長 | 1 | |
| | 11/11 | 介護の日イベント | 11月11日を介護の日 | 中予地区老人福祉施設協議会 | (主任)事務職 | 1 | |
| | 11/17 | 年末調整説明会 | 正しい年末調整事務を行うために | 松山税務署 | 事務職 | 計2 | |
| | 11/26 | | | | (主任)事務職 | 1 | |

【デイサービス 部門】

| | 月日 | 研修名 | 研修内容 | 主催 | 備考 | |
|--|------|---------------------|-----------------------------------|------------|--------------------------|-------|
| | | | | | 職種 | 人数(名) |
| | 4/30 | デイサービス運営改善研究会 | デイサービスの運営改善 | 全国高齢者ケア研究会 | 施設長 | 1 |
| | 5/21 | 送迎(福祉)車輦安全運転講習会 | 事故発生のメカニズム、事故をなくす方法他 | 日本福祉車輦協会 | 介護職 | 1 |
| | 7/13 | 相談員の支援力アップ研修 | 相談員の大事な役割をすっきり整理 | 福祉と介護研究所 | (主任補)生活相談員 | 1 |
| | 8/4 | デイサービス部門機能訓練に関する研修会 | 機能訓練の状況 | 自施設計画 | 施設長 機能訓練指導員 | 計2 |
| | 8/5 | | | | 看護職 機能訓練指導員 | 計2 |
| | 1/19 | 第2回デイサービスセンター職員研修会 | 介護保険制度改正の最新の動向や今後の方向性を学び、今後の対応を探る | 県老人福祉施設協議会 | 理事長 施設長 (主任補)生活相談員 | 計3 |
| | 1/27 | レクリエーション・リーダー養成講習会 | レクリエーションの理論・実践方法の実技を交えての体験学習 | 福利厚生センター | 介護職 | 1 |
| | 3/23 | 介護報酬改定に係る事業者説明会 | 介護報酬改定内容の説明 | 県中予地方局 | (主任補)生活相談員 | 1 |

X. 研修の状況【施設外研修】

【支援センター・居宅介護支援事業所 部門】

| 月日 | 研修名 | 研修内容 | 主催 | 備考 | |
|-------|-----------------------------------|---|-----------------|------------------------|-------|
| | | | | 職種 | 人数(名) |
| 4/19 | 第2回福祉用具セミナー | 車いすシーティング 体験を交えながら学ぶ | フロンティア | 介護支援専門員 | 1 |
| 5/22 | 介護支援専門員地域リーダー養成研修 | 介護支援専門員地域リーダー養成研修の打合せ | 県老人福祉施設協議会 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 5/10 | 介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程Ⅰ】 | 全体講義 | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | 1 |
| 5/11 | | 選択講義 | | | |
| 5/12 | | 演習 | | | |
| 5/17 | | 演習 | | | |
| 5/24 | | | | | |
| 7/14 | 認定調査員現任研修 | 調査のポイント開設、事例検討 | 東温市、愛媛県 | 介護支援専門員 | 1 |
| 7/19 | 第5回愛媛医療センター地域医療連携交流会 | 最近の糖尿病治療の紹介 | 愛媛医療センター | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 5/31 | 介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程Ⅱ】 | 全体講義 | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | 1 |
| 8/2 | | 事例研究・演習 | | | |
| 8/3 | | 事例研究・演習 | | | |
| 9/6 | 第10回全国高齢者ケア研究会 | 特養要介護3時代へ/生き残りをかけた重度化対策の決定版「トータルケア」 | 全国高齢者ケア研究会 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 9/7 | 第3回全国地域包括ケア研究会 | | | | |
| 9/6 | 介護支援専門員特別研修(医療基礎知識編) | 石・看護師・薬剤師等との連携に必要な知識、医療の視点を持ったケアマネジメントのあり方 | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | 1 |
| 9/7 | | | | | |
| 9/13 | | | | | |
| 11/19 | 介護支援専門員地域リーダー養成研修及び地域包括支援センター職員研修 | 主任介護支援専門員の資質向上を図る | 県保健福祉部 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 12/1 | 地域包括ケア・マネジメント研究会 | 地域包括ケア時代の新しいケアマネジメントの実践発表と意見交換 | 全国高齢者ケア研究会 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 12/2 | | | | | |
| 12/3 | | | | | |
| 12/7 | 第18回口から食べたい講演会 | 生きる力を引き出す食支援と地域連携 | 伊予歯科医師会 | 支援看護職 介護支援専門員 | 計 2 |
| 12/8 | 地域自立支援フォーラム | 平成27年度の介護保険改正(医療・介護の一体化)に向けて各種情報共有し、地域自立生活支援が充実することを旨とする | 県社会福祉協議会 | 介護支援専門員 | |
| 1/17 | 認知症キャラバン・メイト研修(スキルアップ講座) | 認知症・生活支援アンケートの活用方法を学ぶ | 県保健福祉部 | 支援看護職 介護支援専門員 | 計 2 |
| 1/23 | 第2回地域包括ケア実践研修会 | 高齢者が住みなれた地域で安心して愛顔で暮らせる地域包括ケアシステムの構築を目的とする | 県保健福祉部 | 支援看護職 | 1 |
| 1/31 | 第30回臨床高次脳機能研究会えひめ | 高次脳機能障害と自動車運転 | 臨床高次脳機能研究会 | 支援看護職 介護支援専門員 | 計 2 |
| 2/4 | 介護支援専門員地域リーダー養成研修「研究集会」 | 各地域における地域包括ケアシステムの構築に向けて | 県保健福祉部 | (主任)介護支援専門員 | |
| 2/5 | 第13回四国老施協セミナー | 老人福祉施設を取り巻く現状と課題について認識し、問題解決のための糸口を学び、地域を支え、地域に必要とされる魅力ある施設づくりを推進する | 四国老人福祉施設協議会 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 2/6 | | | | | |
| 2/17 | 東温市介護保険認定調査員研修会 | 介護保険認定調査の適正化を図る | 東温市 | (主任)介護支援専門員 介護支援専門員 | 計 3 |
| 2/18 | いきいきわくわく教室 | いきいきわくわくとした自分らしい生き方を | 金澤整形外科 | 介護支援専門員 | 1 |
| 3/3 | 第5回職員研修会 | 改正介護保険法の課題・今後の戦略について | 県地域包括・在宅センター協議会 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 3/23 | 介護報酬改定に係る事業者説明会 | 介護報酬改定内容の説明 | 県中予地方局 | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 4/17 | 介護支援専門員連絡会 | 地域ケア会議に関する説明会 | 東温市地域包括支援センター | 介護支援専門員 | 1 |
| 5/15 | | 障害者総合福祉法と従事者との連携 | | 介護支援専門員 | 1 |
| 7/17 | | 地域ケア会議の進行について | | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 7/28 | | インシデント・プロセス法による事例検討会 | | (主任)介護支援専門員 | 1 |
| 8/11 | | 認知症ケアバス | | 看護職 介護支援専門員 | 計 2 |
| 8/21 | | お口と歯の健康教室 | | 介護支援専門員 | 1 |
| 11/20 | | これからの介護保険制度について | | 介護支援専門員 | 1 |
| 12/18 | | 個別、状況に応じたオムツの選択、あて方等 | | 介護支援専門員 | 1 |
| 1/15 | | 高齢者の消費トラブルについて | | 介護支援専門員 | 1 |
| 2/19 | | 訪問時に利用者が倒れていたり、心肺停止時の対応 | | 介護支援専門員 | 1 |
| 3/19 | | 在宅介護体験談 | | 介護支援専門員 | 1 |

【ホームヘルプサービス 部門】

| 月日 | 研修名 | 研修内容 | 主催 | 備考 | |
|------|-----------------|-------------|--------|---------|-------|
| | | | | 職種 | 人数(名) |
| 3/23 | 介護報酬改定に係る事業者説明会 | 介護報酬改定内容の説明 | 県中予地方局 | (専責)介護職 | 1 |

サービス別 利用実績一覧

【 特別養護老人ホーム 】 定員80名・8ユニット（1ユニット定員10名）

| 項目/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計又は平均 | 目標 | |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 稼働日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 | | |
| 要介護 | 1 | 90 | 93 | 60 | 62 | 62 | 30 | 31 | 30 | 31 | 28 | 31 | 579 | | |
| | 2 | 150 | 155 | 150 | 155 | 155 | 180 | 186 | 150 | 144 | 124 | 124 | 1,785 | | |
| | 3 | 230 | 206 | 235 | 287 | 305 | 296 | 248 | 250 | 245 | 315 | 274 | 3,203 | | |
| | 4 | 1,012 | 1,026 | 1,012 | 1,012 | 935 | 777 | 749 | 795 | 885 | 872 | 729 | 793 | 10,597 | |
| | 5 | 828 | 848 | 870 | 917 | 999 | 1,004 | 1,007 | 1,050 | 1,055 | 1,017 | 1,014 | 1,103 | 11,712 | |
| | 平均介護度 | 4.01 | 4.02 | 4.07 | 4.06 | 4.08 | 4.11 | 4.13 | 4.18 | 4.18 | 4.15 | 4.2 | 4.19 | 4.12 | |
| | 延べ利用人数 | 2,310 | 2,328 | 2,327 | 2,433 | 2,456 | 2,287 | 2,221 | 2,275 | 2,360 | 2,359 | 2,157 | 2,363 | 27,876 | |
| | 平均利用人数/1日 | 77.00 | 75.10 | 77.57 | 78.48 | 79.23 | 76.23 | 71.65 | 75.83 | 76.13 | 76.10 | 77.04 | 76.23 | 76.4 | 77.6 |
| | 稼働率 | 96.3% | 93.9% | 97.0% | 98.1% | 99.0% | 95.3% | 89.6% | 94.8% | 95.2% | 95.1% | 96.3% | 95.3% | 95.48% | 97% |

【 ショートステイ 】 定員20名2ユニット（1ユニット定員10名）

| 項目/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計又は平均 | 目標 | |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| 稼働日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 | | |
| 要介護 | 利用延べ人数計 | 552 | 573 | 504 | 547 | 567 | 562 | 511 | 483 | 558 | 551 | 509 | 510 | 6,427 | |
| | 平均介護度 | 3.20 | 3.24 | 3.27 | 3.13 | 3.24 | 3.18 | 3.17 | 3.07 | 3.11 | 3.29 | 3.25 | 3.13 | 3.19 | |
| | 平均利用人数/1日 | 18.40 | 18.48 | 16.80 | 17.65 | 18.29 | 18.73 | 16.48 | 16.10 | 18.00 | 17.77 | 18.18 | 16.45 | 17.61 | |
| 要支援 | 利用延べ人数 | 7 | 7 | 8 | 7 | 9 | 9 | 3 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 63 | |
| | 平均利用人数/1日 | 0.23 | 0.23 | 0.27 | 0.23 | 0.29 | 0.30 | 0.10 | 0.17 | 0.06 | 0.06 | 0.07 | 0.06 | 0.17 | |
| 総計 | 延べ利用人数 | 559 | 580 | 512 | 554 | 576 | 571 | 514 | 488 | 560 | 553 | 511 | 512 | 6,490 | |
| | 平均利用人数/1日 | 18.63 | 18.71 | 17.07 | 17.87 | 18.58 | 19.03 | 16.58 | 16.27 | 18.06 | 17.84 | 18.25 | 16.52 | 17.8 | 17 |
| | 稼働率 | 93.2% | 93.5% | 85.3% | 89.4% | 92.9% | 95.2% | 82.9% | 81.3% | 90.3% | 89.2% | 91.3% | 82.6% | 88.92% | 85% |

サービス別 利用実績一覧

【 デイサービス 】

利用定員30名

| 項目/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計又は平均 | 目標 | |
|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|----|
| 稼働日数 | 26 | 27 | 25 | 27 | 26 | 26 | 27 | 25 | 26 | 24 | 24 | 26 | 309 | | |
| 要介護 | 利用実人数 | 53 | 53 | 53 | 50 | 51 | 52 | 51 | 56 | 55 | 51 | 51 | 47 | 52 | |
| | 利用延べ人数 | 557 | 595 | 563 | 570 | 520 | 551 | 540 | 542 | 546 | 475 | 445 | 478 | 6,382 | |
| | 平均介護度 | 2.54 | 2.43 | 2.44 | 2.51 | 2.47 | 2.40 | 2.40 | 2.40 | 2.27 | 2.30 | 2.25 | 2.24 | 2.39 | |
| | 平均利用人数/1日 | 21.42 | 22.04 | 22.52 | 21.11 | 20.00 | 21.19 | 20.00 | 21.68 | 21.00 | 19.79 | 18.54 | 18.38 | 20.64 | |
| 要支援 | 利用実人数 | 14 | 16 | 15 | 17 | 17 | 16 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | 17 | 16.6 | |
| | 利用延べ人数 | 86 | 110 | 91 | 118 | 107 | 104 | 107 | 95 | 97 | 94 | 99 | 108 | 1,216 | |
| | 平均利用人数/1日 | 3.3 | 4.07 | 3.64 | 4.37 | 4.12 | 4.00 | 3.96 | 3.80 | 3.73 | 3.92 | 4.13 | 4.15 | 3.92 | |
| 総計 | 利用延べ人数 | 643 | 705 | 654 | 688 | 627 | 655 | 647 | 637 | 643 | 569 | 544 | 586 | 7,598 | |
| | 平均利用人数/1日 | 24.73 | 26.11 | 26.16 | 25.48 | 24.12 | 25.19 | 23.96 | 25.48 | 24.73 | 23.71 | 22.67 | 22.54 | 24.57 | 25 |
| | 稼働率 | 82.4% | 87.0% | 87.2% | 84.9% | 80.4% | 84.0% | 79.9% | 84.9% | 82.4% | 79.0% | 75.6% | 75.1% | 81.91% | |

【 居宅介護支援事業所 】

| 項目/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計又は平均 | 目標 | |
|----------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 介護支援専門員数 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | | |
| 要介護 | 介護 利用人数 | 104 | 101 | 103 | 103 | 98 | 96 | 100 | 102 | 102 | 100 | 101 | 99 | 100.8 | 100 |
| | 介護 稼働率 | 99.0% | 96.2% | 98.1% | 98.1% | 93.3% | 91.4% | 95.2% | 97.1% | 97.1% | 95.2% | 96.2% | 94.3% | 96.0% | |
| 要支援 | 予防 利用人数 | 21 | 21 | 19 | 19 | 21 | 24 | 27 | 26 | 25 | 26 | 26 | 25 | 23.3 | 22 |
| | 予防 稼働率 | 87.5% | 87.5% | 79.2% | 79.2% | 87.5% | 100.0% | 112.5% | 108.3% | 104.2% | 108.3% | 108.3% | 104.2% | 97.22% | |
| 総計 | 介護+予防 利用人数 | 125 | 122 | 122 | 122 | 119 | 120 | 127 | 128 | 127 | 126 | 127 | 124 | 124.1 | 122 |
| | 介護+予防 稼働率 | 96.9% | 94.6% | 94.6% | 94.6% | 92.2% | 93.0% | 98.4% | 99.2% | 98.4% | 97.7% | 98.4% | 96.1% | 96.19% | |
| 新規利用人数 | 6 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 6 | 4 | 1 | 3 | 5 | 5 | 3.6 | | |
| 訪問調査件数 | 6 | 6 | 7 | 8 | 6 | 6 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6.4 | 6 | |
| 営業訪問先 | 8 | 2 | 3 | 4 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4.4 | | |

【 訪問介護 】

| 項目/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計又は平均 | 目標 |
|--------------|----------|----|----|----|----|----|-----|------|------|------|------|------|-------|------|
| ホームヘルパー常勤換算数 | | | | | | | | 3.61 | 3.65 | 3.47 | 3.36 | 3.44 | 3.5 | |
| 要介護 | 利用実人数 | | | | | | | 11 | 12 | 13 | 12 | 13 | 12.2 | 13 |
| | 利用延べ訪問件数 | | | | | | | 305 | 310 | 300 | 279 | 302 | 1,496 | |
| | 平均介護度 | | | | | | | 2.7 | 2.6 | 2.8 | 2.7 | 2.6 | 2.7 | |
| 要支援 | 利用実人数 | | | | | | | 13 | 13 | 13 | 12 | 13 | 13 | 11.6 |
| | 利用延べ訪問件数 | | | | | | | 85 | 87 | 87 | 75 | 85 | 419 | |
| 総計 | 実人数 | | | | | | | 24 | 25 | 26 | 24 | 26 | 25 | |

XII. 職員の状況

(単位:名)

| 部門等 | 前年度末 | 平成26年度当初 | | | 平成26年度中の状況 | | | 平成26年度末 | 常勤換算数(年度末) |
|---------|------|------------------|-----------------|------------|------------|--------|----|---------|------------|
| | | 退職 (26.3.31付) | 入職 (26.4.1付) | 4月1日 現在 | 入職 | 異動 | 退職 | | |
| 特養+ショート | 85 | -2 | 9 | 92 | 7 | -2 | 7 | 90 | 71.4 |
| （介護職員） | 64 | -1 | 5 | 68 | 4 | -1, +1 | 5 | 67 | 52.6 |
| （看護職員） | 8 | 0 | 0 | 8 | 2 | -1 | 2 | 7 | 6.8 |
| （その他） | 13 | -1 | 4 | 16 | 1 | -1 | 0 | 16 | 12 |
| デイ | 11 | -1 | 1 | 11 | 2 | -1, +3 | 1 | 14 | 11 |
| 支援+居宅 | 5 | 0 | 0 | 5 | 0 | -1 | 0 | 4 | 4 |
| ヘルパー | — | — | — | — | 7 | +1 | 0 | 8 | 3.4 |
| 計 | 101 | -3 | 10 | 108 | 16 | 0 | 8 | 116 | 89.8 |

- ・ 育児休業取得者（1名）は常勤換算数には含めず
- ・ 医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師、歯科医師5名、歯科衛生士1名、理学療法士1名、作業療法士2名（デイ）】

